

2026年10月2日（金）

マーケット研修資料

（2026年10月）

マーケットエッジ株式会社 代表取締役
小菅 努

金相場の見方



金相場の見方



金相場の見方

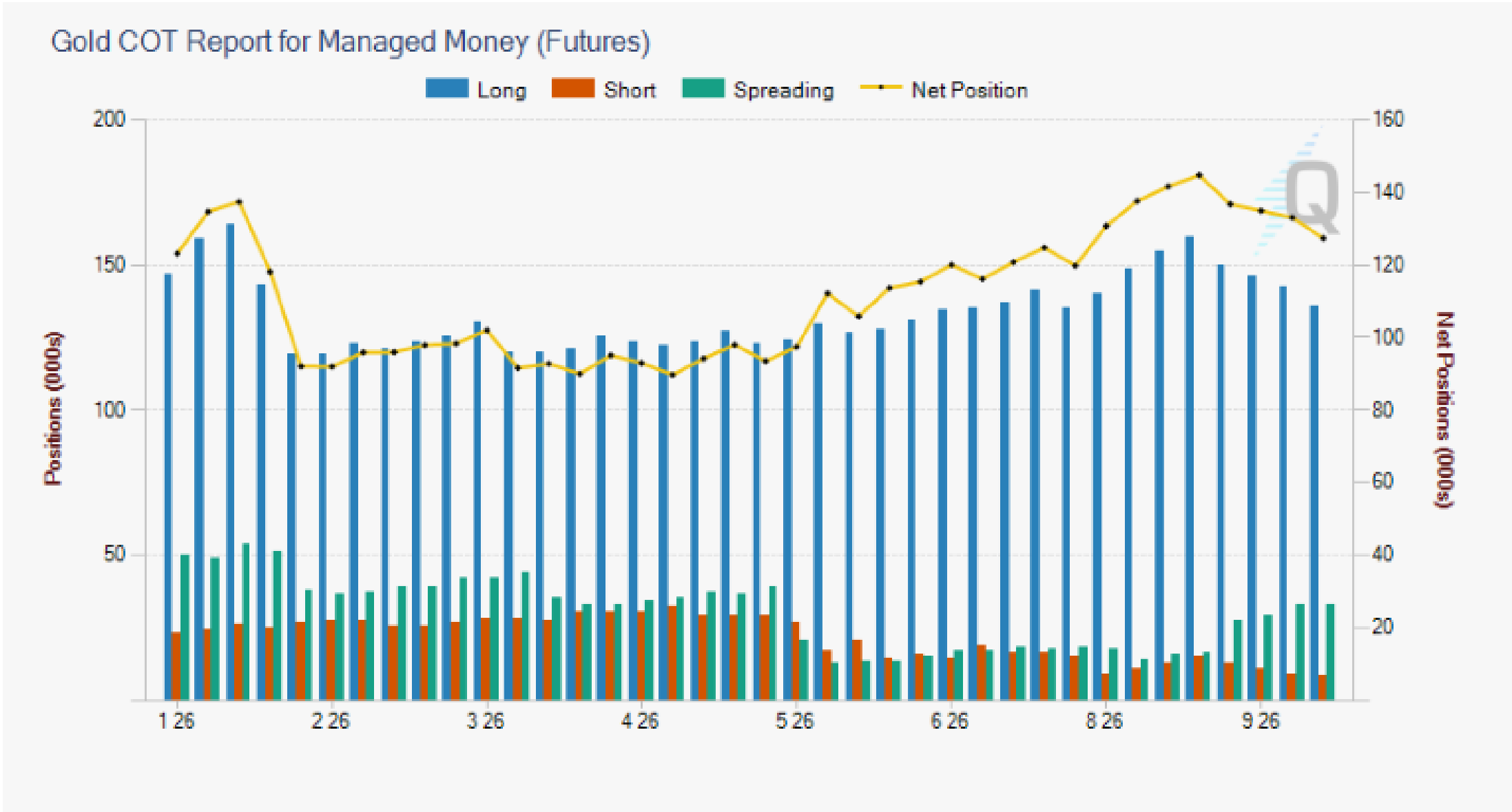


(注) ドル指数は上下逆転 (出所) LSEGよりマーケットエッジ作成

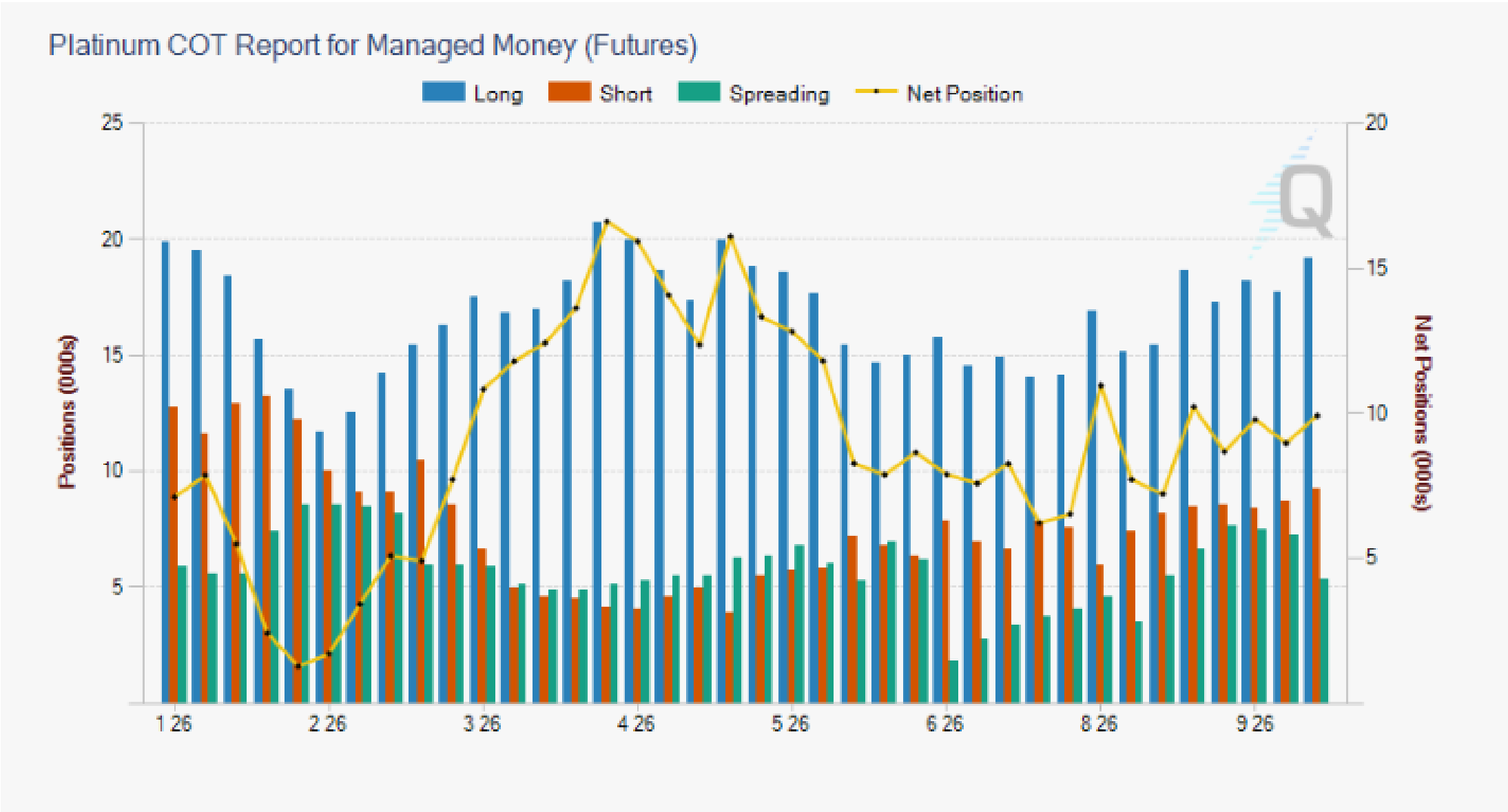


(注) ドル指数は上下逆転 (出所) LSEGよりマーケットエッジ作成

金相場の見方



金相場の見方



金相場の見方



(出所) SPDR GOLD SHARESよりマーケットエッジ作成

金相場の見方



金相場の見方

Growth shock

- 企業利益悪化
- 株安
- 金利低下
- 債券価格は上昇

※債券のヘッジ成功＝金不要



Inflation / fiscal shock

- インフレ/財政問題が深刻化
- 金利上昇
- 株安
- 債券価格も下落

※債券のヘッジ失敗＝金必要

従来： 株式 vs 債券

※株式のリスクを債券でヘッジ

現在： 金融資産 vs 実物資産（信用リスクなし）

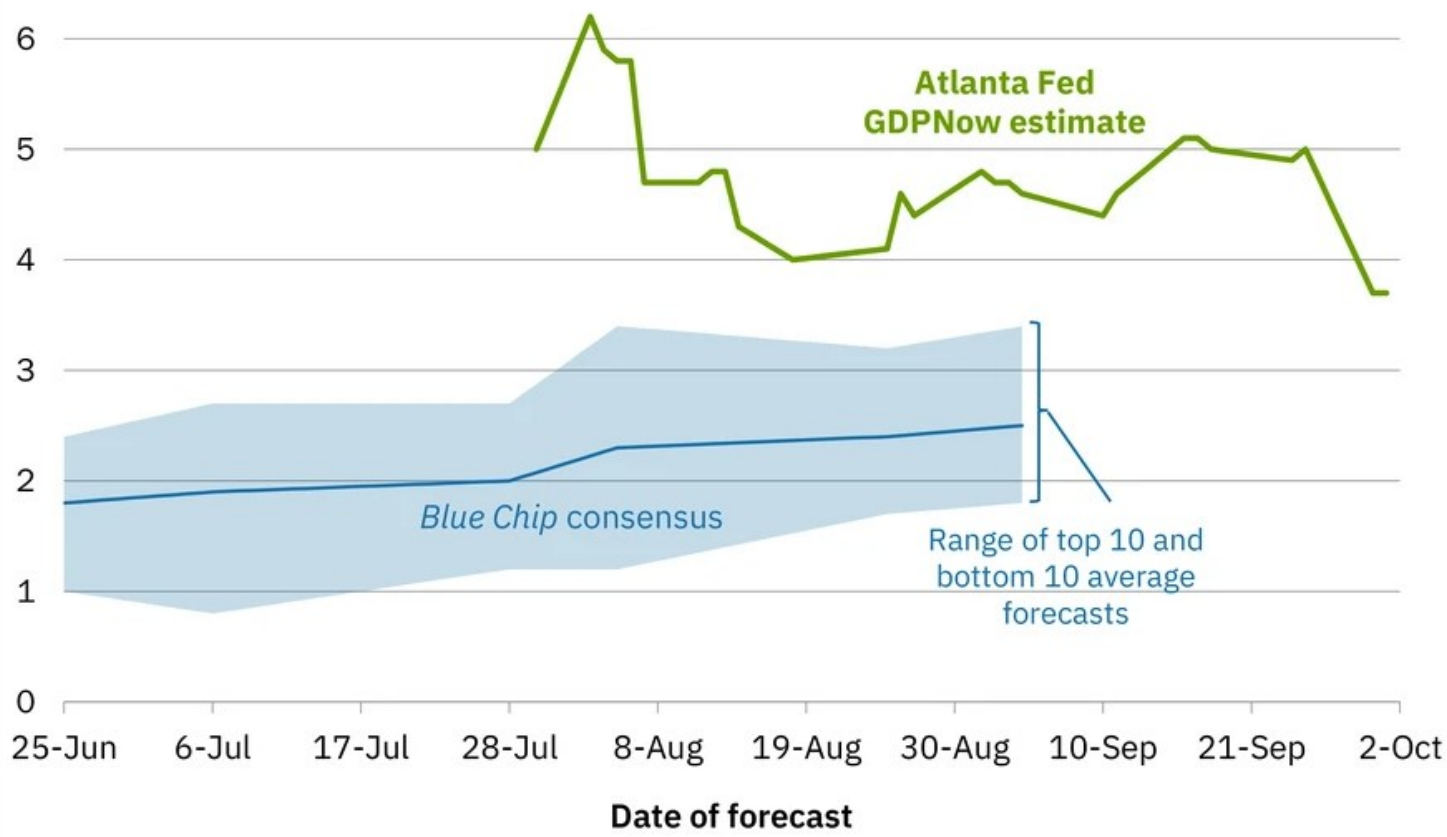
※株式と債券に共通するリスクを金でヘッジ

金相場の見方



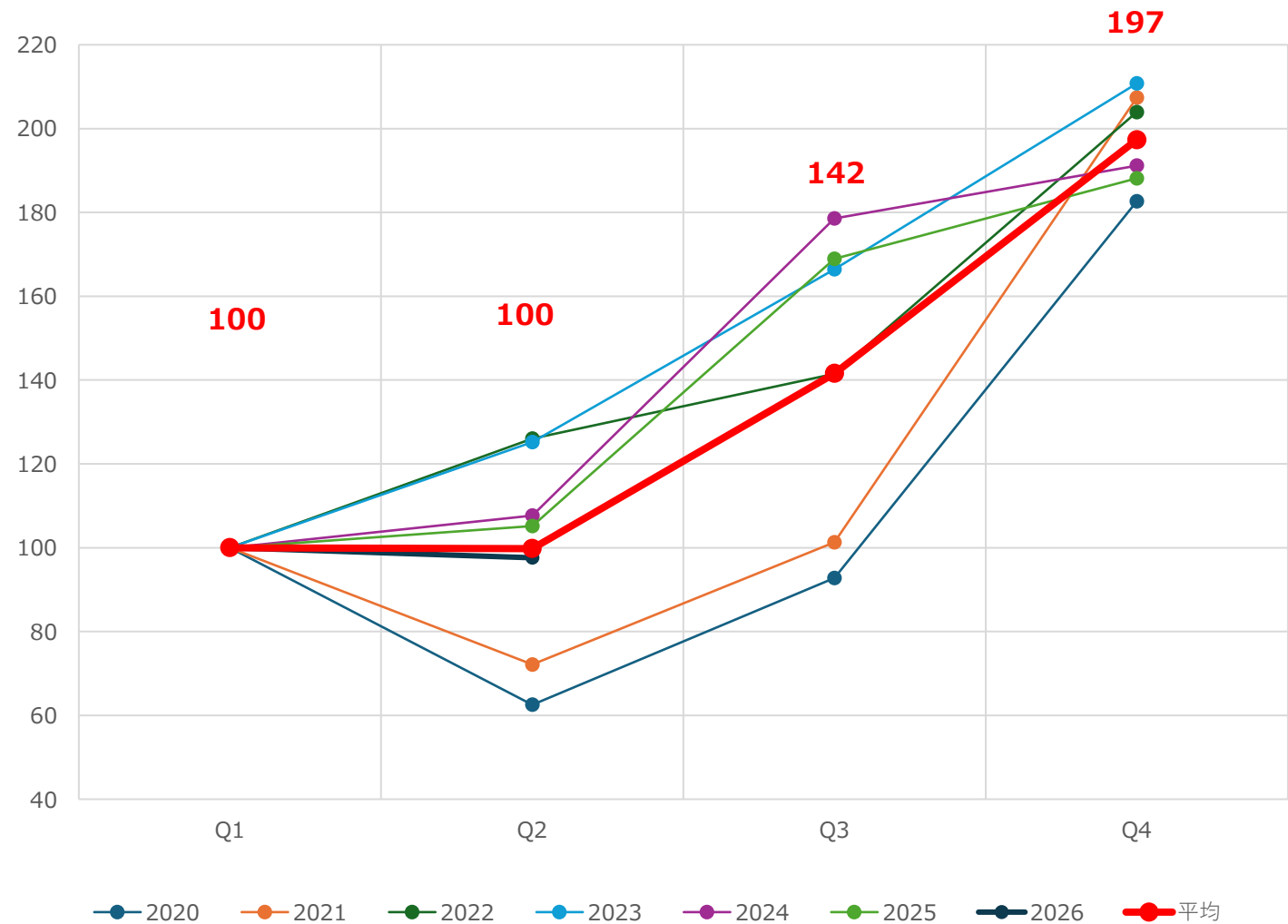
金相場の見方

Evolution of Atlanta Fed GDPNow real GDP estimate for 2026:Q3
Quarterly percent change (SAAR)



金相場の見方

インド金需要の季節傾向（Q1 = 100）

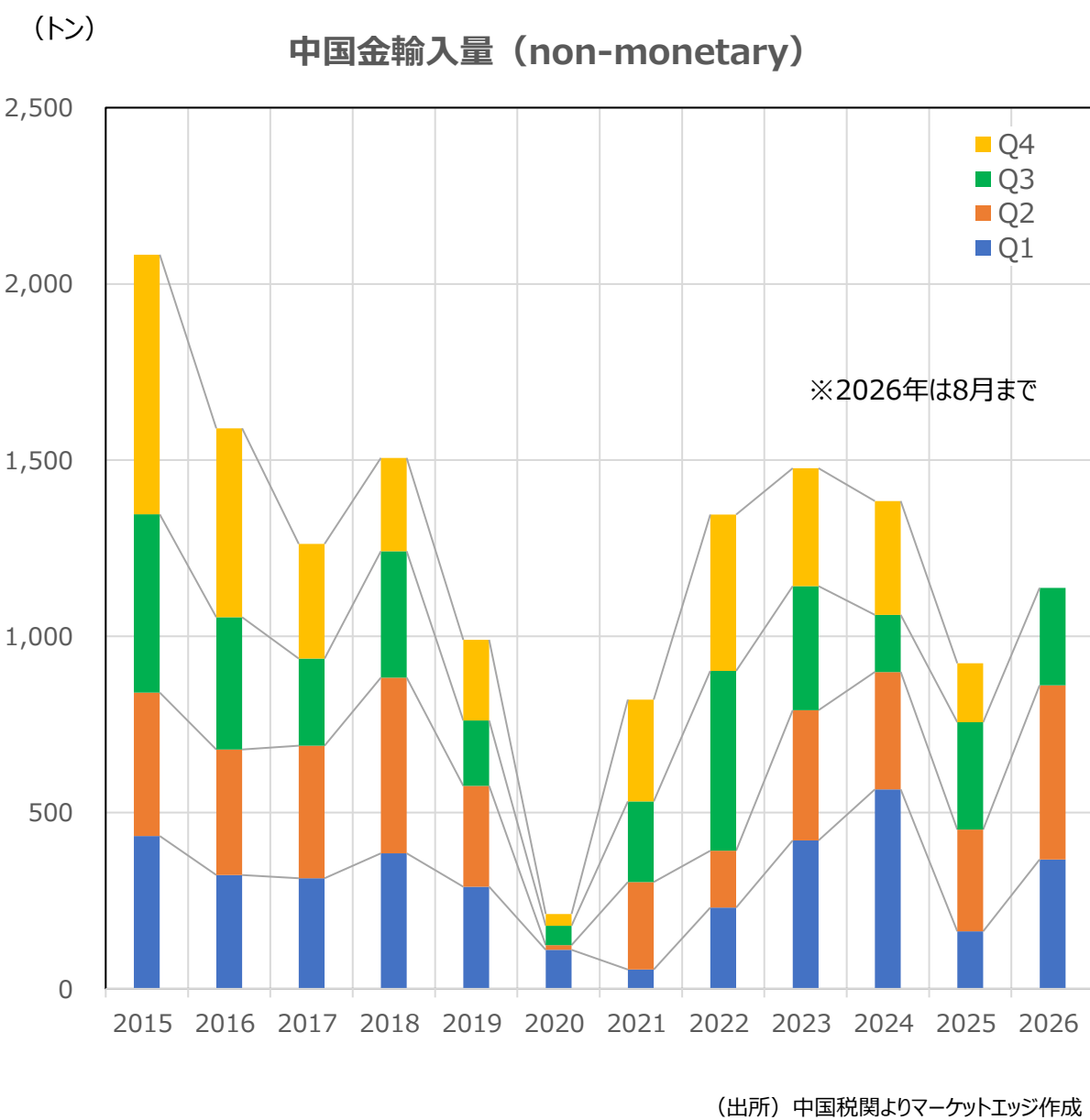
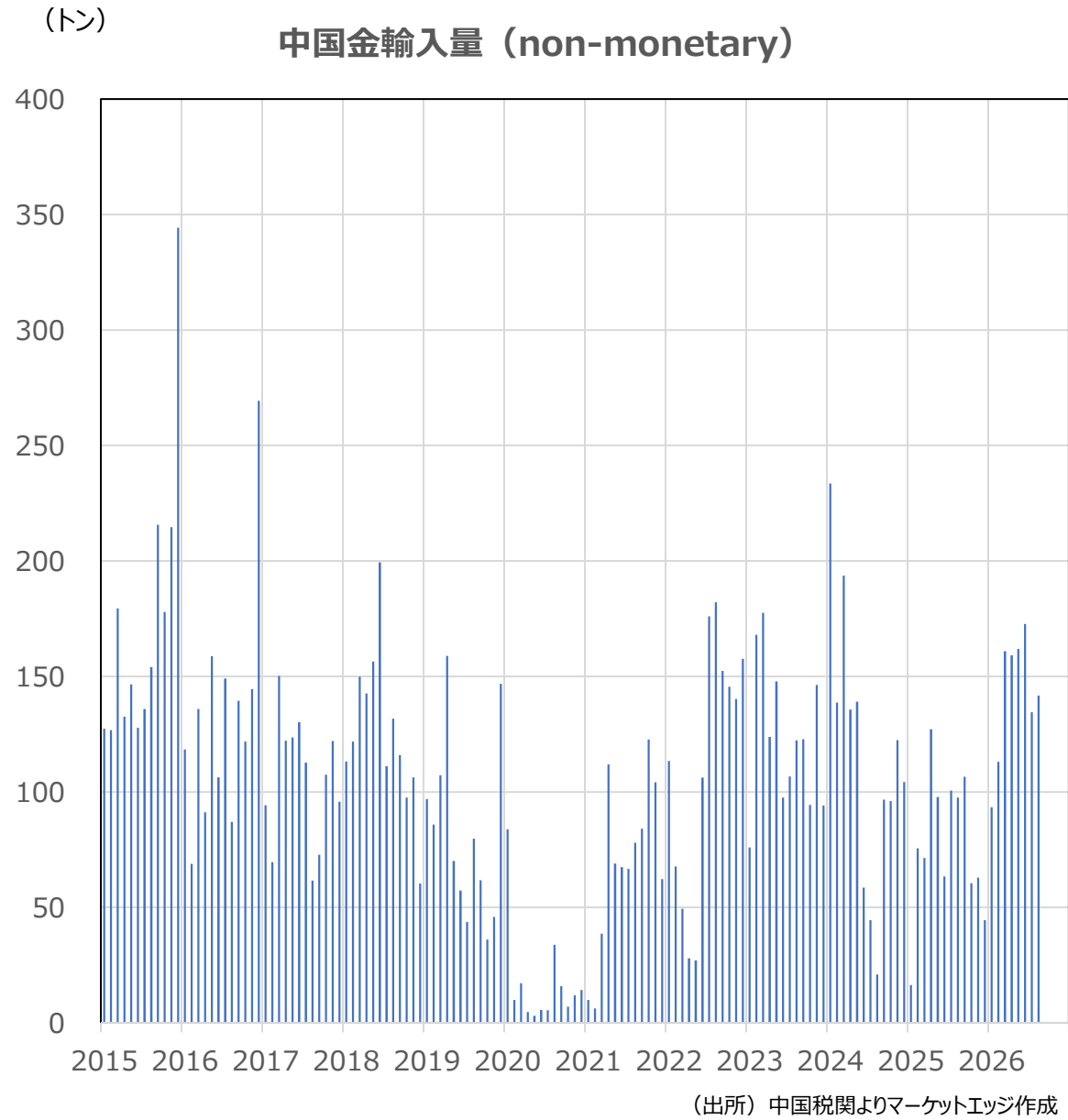


➤ 2026年10～12月期 インドの祝祭

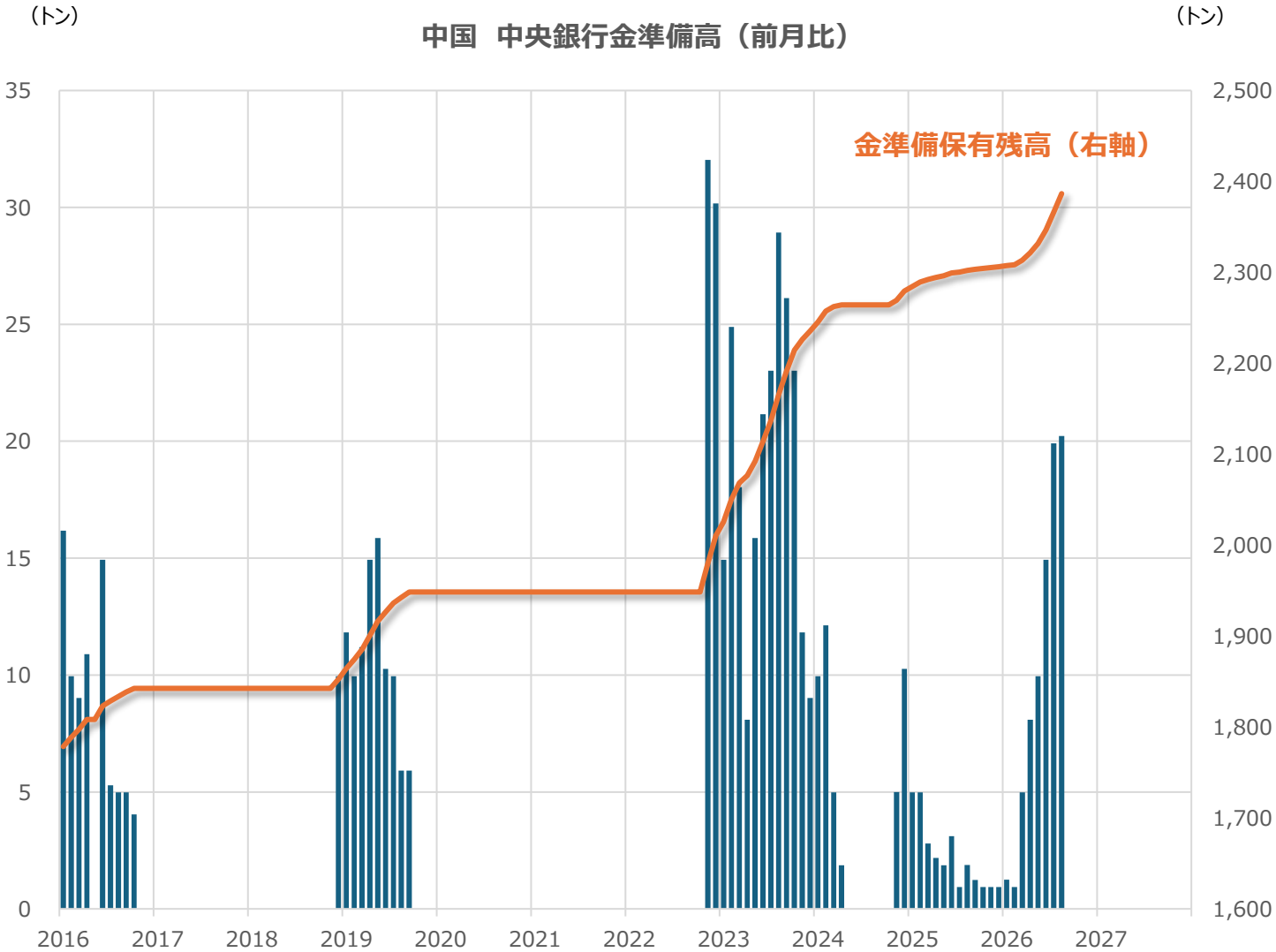
- 10/02 ガンジー生誕祭
- 10/20 ヒンドゥー教 ダシュラ祭
- 10/27 ヒンドゥー教 ドゥルガ・プージャ
- 11/08 ヒンドゥー教 ディワリ（新年祭り）
- 11/24 シーク教 ナナック生誕祭
- 12/05 キリスト教 クリスマス

（出所） World Gold Councilよりマーケットエッジ作成

金相場の見方



金相場の見方



(出所) 中国人民銀行、World Gold Councilよりマーケットエッジ作成

中国人民銀行の金準備保有高 (前月比)

(トン)	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
1月	+0.00	+14.93	+9.95	+4.98	+1.24
2月	+0.00	+24.88	+12.13	+4.98	+0.93
3月	+0.00	+18.04	+4.98	+2.80	+4.98
4月	+0.00	+8.09	+1.87	+2.18	+8.09
5月	+0.00	+15.86	+0.00	+1.87	+9.95
6月	+0.00	+21.15	+0.00	+3.11	+14.93
7月	+0.00	+23.02	+0.00	+0.93	+19.91
8月	+0.00	+28.93	+0.00	+1.87	+20.22
9月	+0.00	+26.13	+0.00	+1.24	
10月	+0.00	+23.02	+0.00	+0.93	
11月	+32.04	+11.82	+5.00	+0.93	
12月	+30.17	+9.02	+10.26	+0.93	

(出所) 中国人民銀行、World Gold Councilよりマーケットエッジ作成

金相場の見方

モルガン・スタンレー

- ◆金価格は1年以内に1オンスあたり5000ドルを超える水準で取引される見通し
- ◆金価格は短期的には圧力を受ける可能性があるものの、モルガン・スタンレーは今後数ヶ月でさらなる上昇を見込んでいる
- ◆8月に投資家は現在と同水準で買いを増やした→金価格が大きく下げると決済される
- ◆アルゴリズム取引ファンドによる活発な動きが見られる
- ◆金価格は4000ドルの水準を少し上回るところで一定の支持を得ているようだ
- ◆中国やポーランドなどの中央銀行からの現物需要は依然として非常に強い
- ◆中国は金に対する非常に強い需要を持っている
- ◆上場投資信託(ETF)は金を買って増しており、利上げが実現した市場においては異例のこと
- ◆金とドル、そして金と債券市場の間の相関関係が最近変化しているように見える

金相場の見方

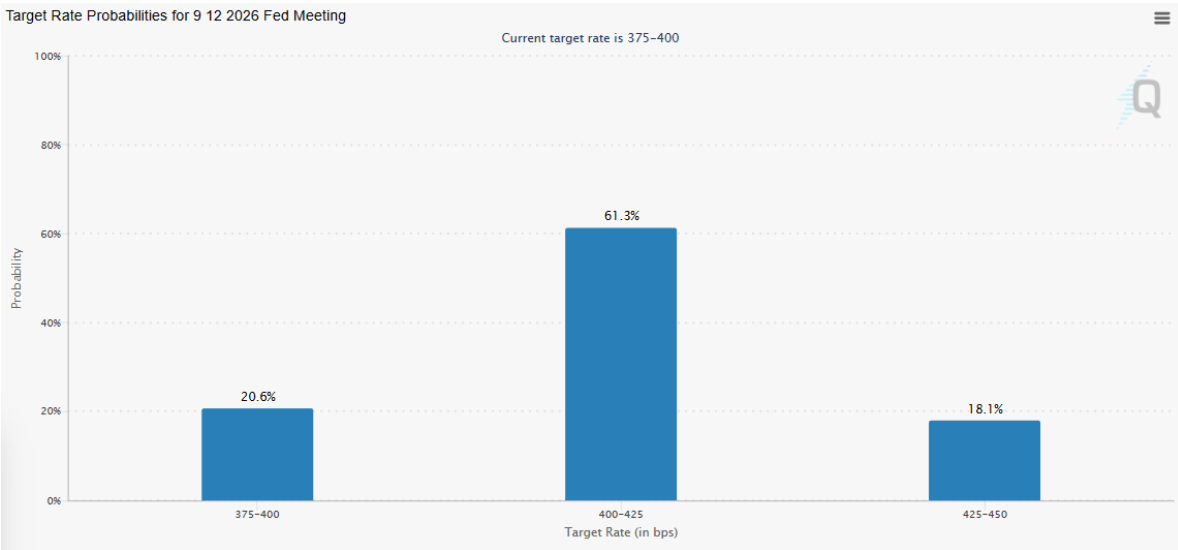
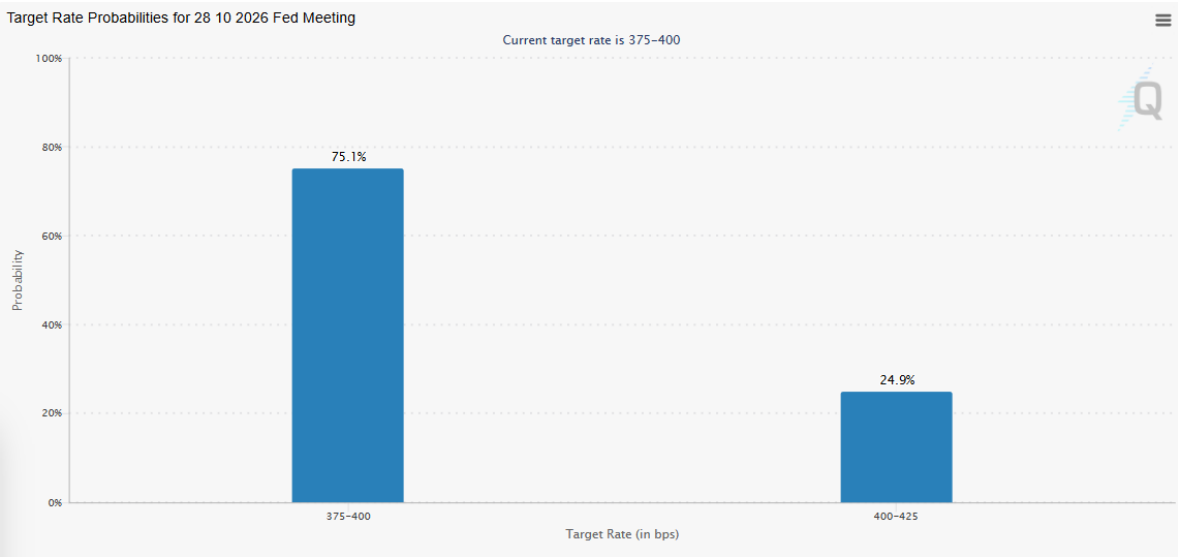
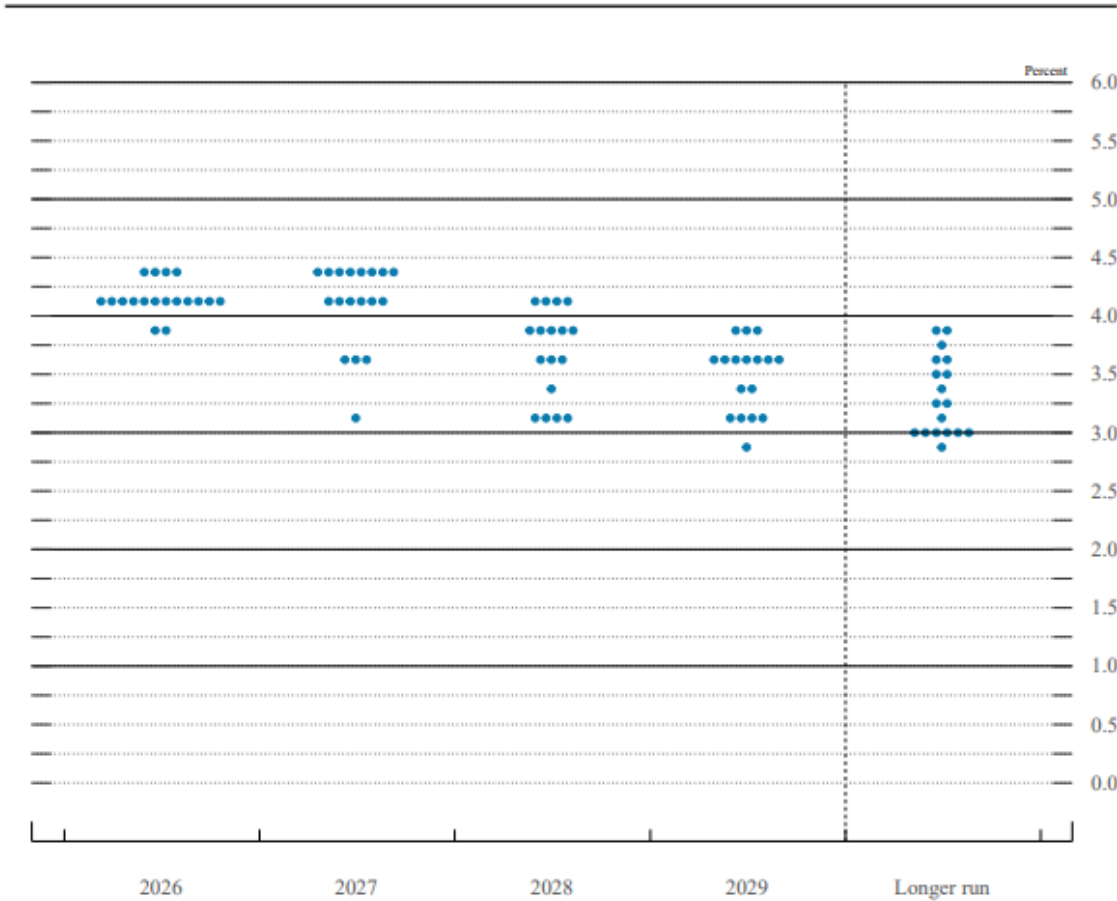


Figure 2. FOMC participants' assessments of appropriate monetary policy: Midpoint of target range or target level for the federal funds rate



南アランド/円



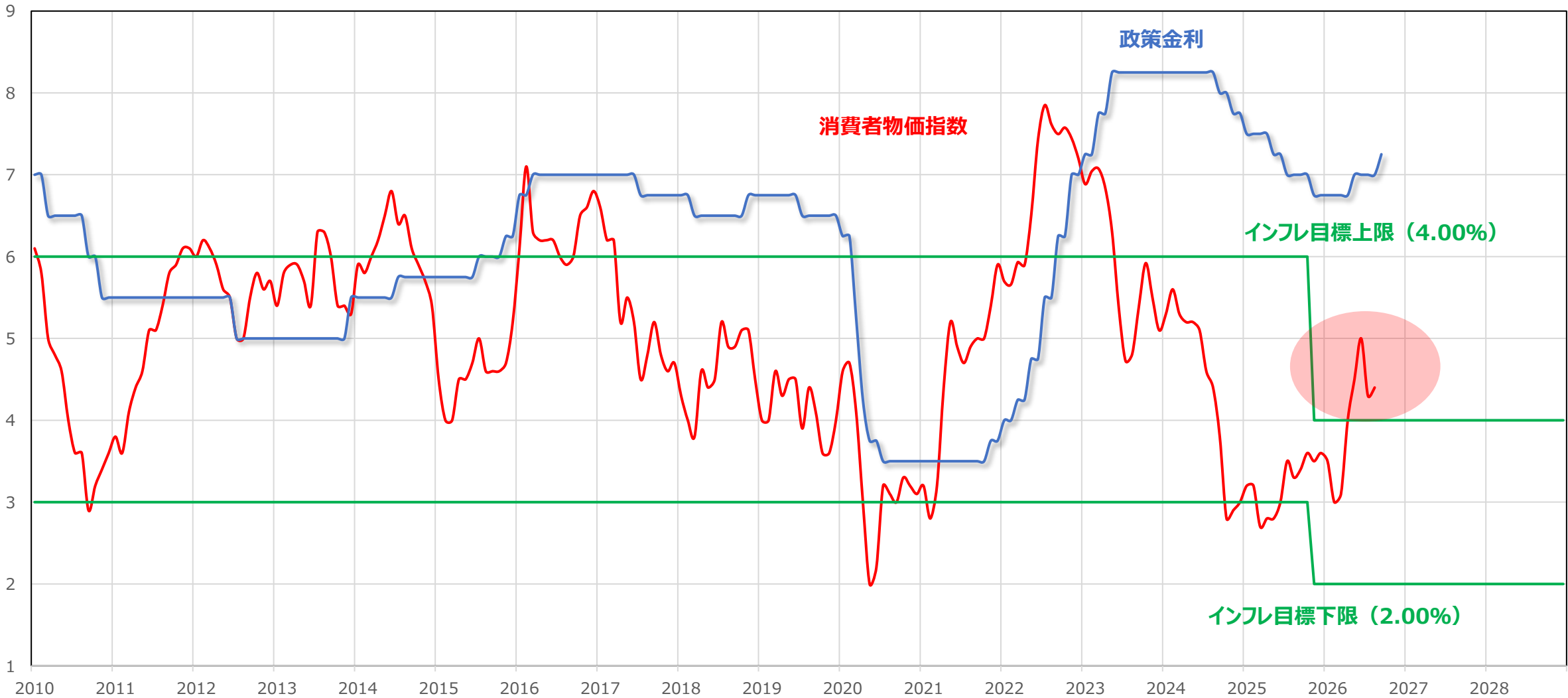
メキシコペソ/円



南アランド/円

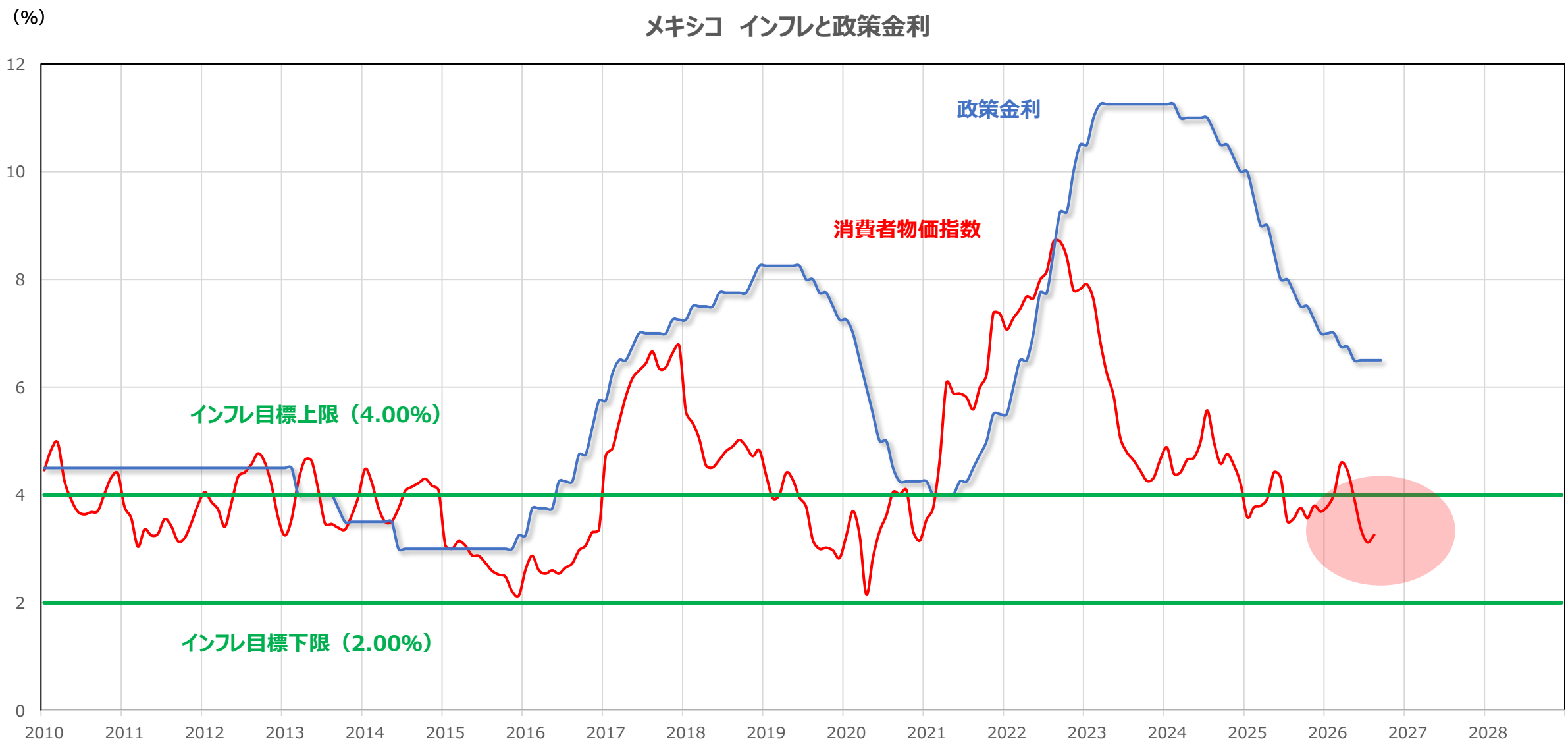
(%)

南アフリカ インフレと政策金利



(出所) LSEGよりマーケットエッジ作成

メキシコペソ/円



(出所) LSEGよりマーケットエッジ作成

メキシコペソ/円

南ア中銀、政策金利7.25%に引き上げ インフレ率3%への抑制を目指す

[プレトリア 23日 ロイター] - 南アフリカ準備銀行（SARB、中央銀行）は23日の金融政策委員会（MPC）で、政策金利のレポ金利ZAREPO=ECIを25ベーシスポイント（bp）引き上げ、7.25%にすることを**全会一致で決定**した。**インフレ率を中銀目標である3%に抑えることを目指している**と述べた。

南ア中銀は、インフレ目標3%の上下1%ポイントを許容範囲としている。8月の南ア消費者物価指数（CPI）ZACPIY=ECIは前年同月**4.4%上昇**と、7月の4.3%から伸びが加速した。

ロイターがまとめた調査でエコノミストの大半が25bpの利上げを予想していた。7月に開かれた前回の会合以降、イラン情勢の緊迫化に伴い原油価格が再び上昇し、世界経済の見通しも悪化している。

メキシコ中銀、政策金利6.5%に維持 「据え置き継続」示唆する文言削除

[メキシコ市 24日 ロイター] - メキシコ銀行（中央銀行）は24日、市場の予想通り政策金利を6.50%に据え置いた。ただ、今後も借り入れコストを現行水準に維持すると示唆していたフォワードガイダンス（先行き指針）の文言は削除した。

決定は5人の理事の**全会一致**だった。中銀は声明で、今後の政策決定に当たっては、進行中のデフインフレの過程と、為替相場の消費者物価への波及、経済のスラック（需給の緩み）の状況、インフレ期待など、判断材料の動向を考慮すると表明。

過去3回の声明では、**現行の金利水準を今後も維持することが適切**との見解を示していたが、今回はこの文言が**削除**された。

中銀は、総合インフレ率が2027年第4・四半期に目標の3%に収束するとの見通しを維持し、インフレのリスクバランスは引き続き上振れに傾いているとの認識を示した。

また、米国の経済政策や地政学的紛争に起因する不確実性を指摘。一方、予測期間を通じて経済のスラックが継続すると見込まれるほか、経済活動には依然として大きな下振れリスクがあったとした。米連邦準備理事会（FRB）が今月利上げを決定したことについては、メキシコの金融政策がFRBの動きに自動的に追随する必要はないとした。

Precious Metals

COMEX金先物相場（日足）



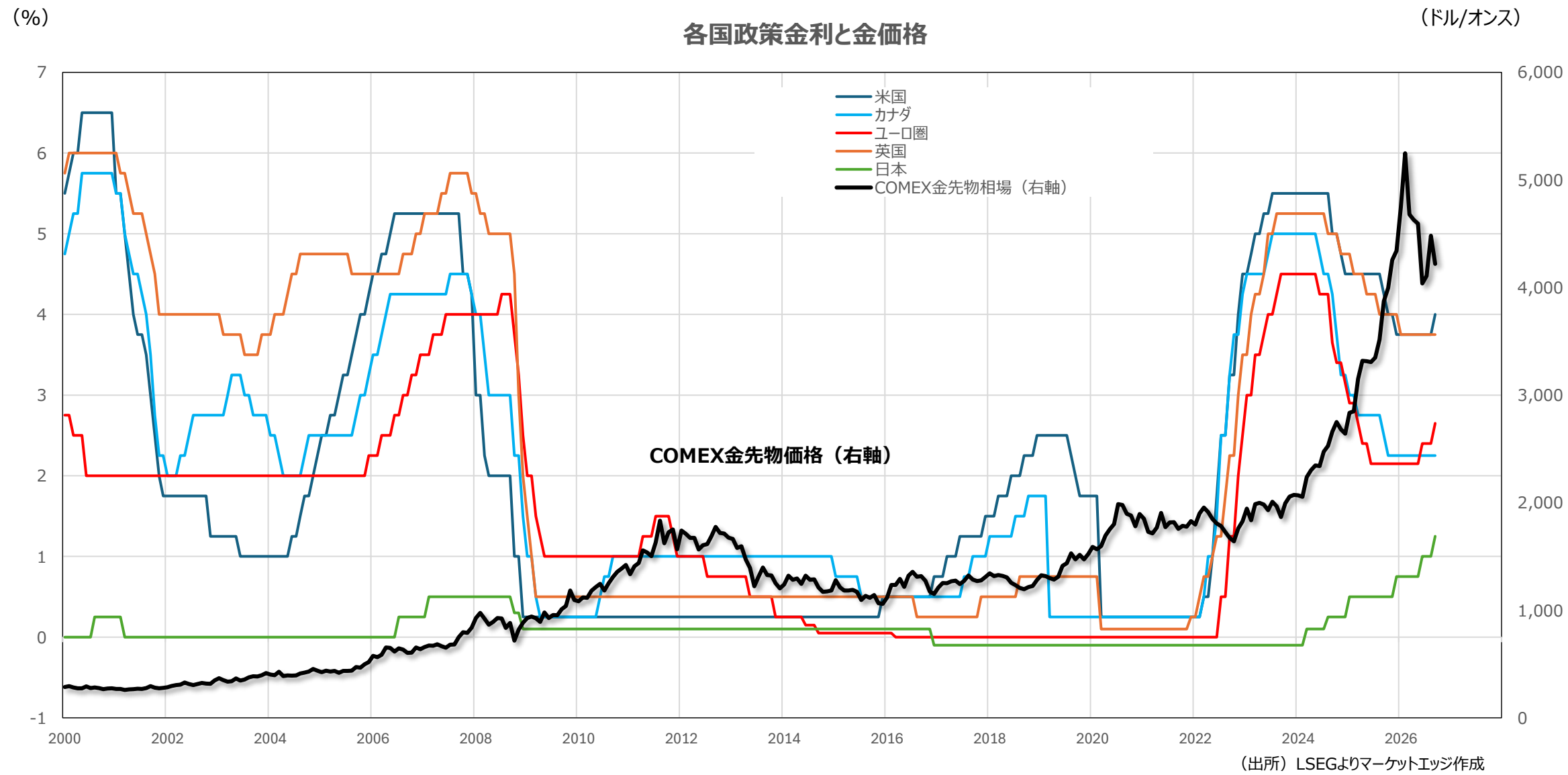
COMEX銀先物相場（日足）



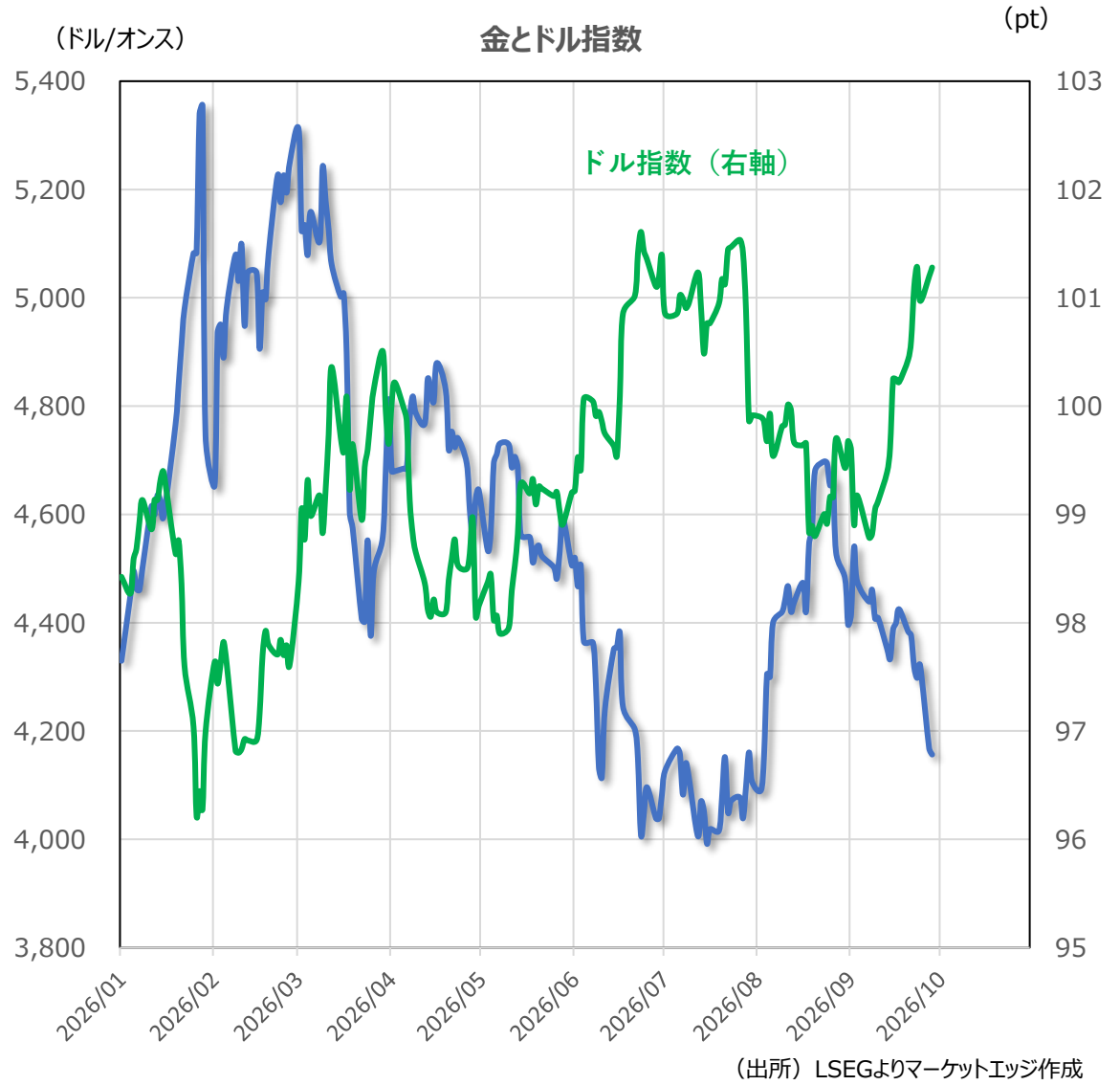
NYMEXプラチナ先物相場（日足）



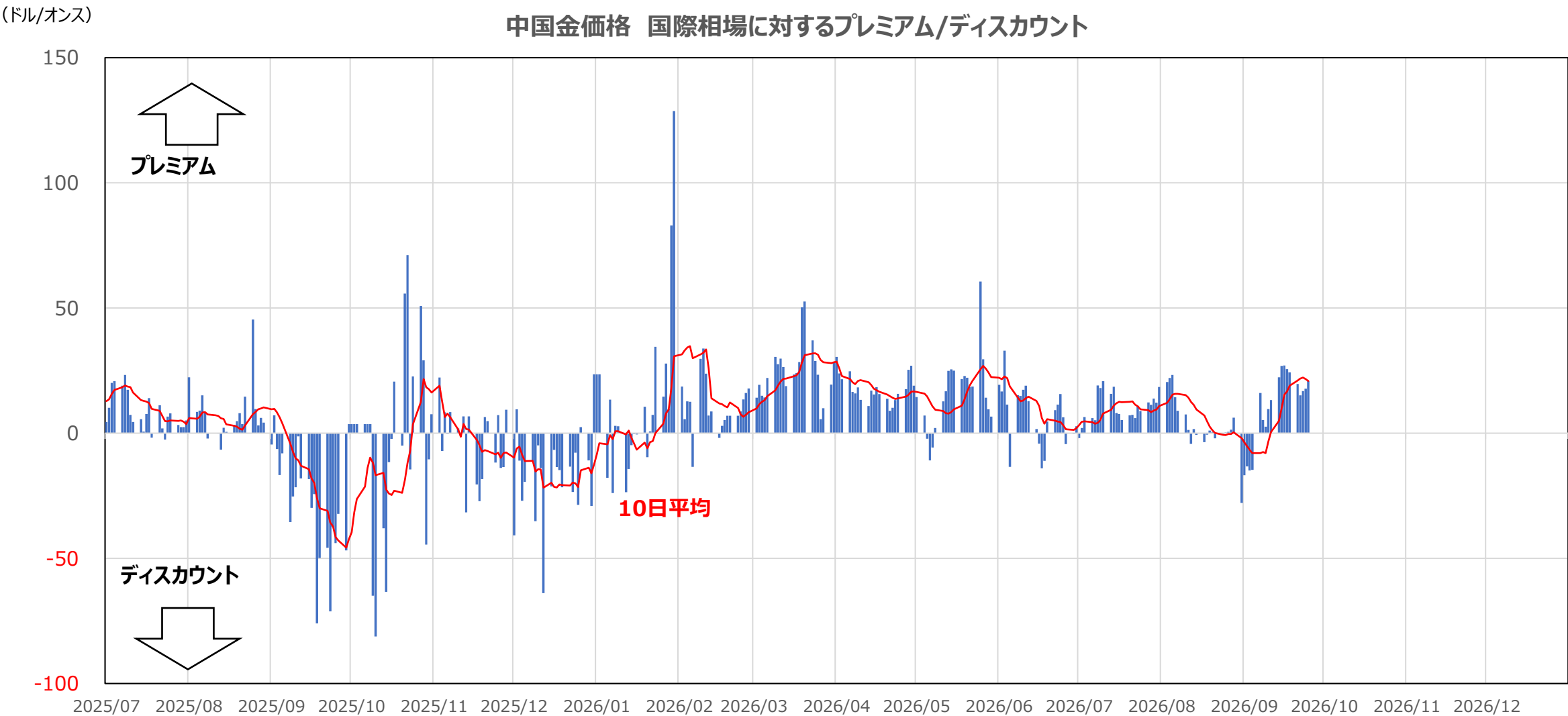
金融政策との関係性



米金利/ドルとの関係性



アジア現物市場の動向

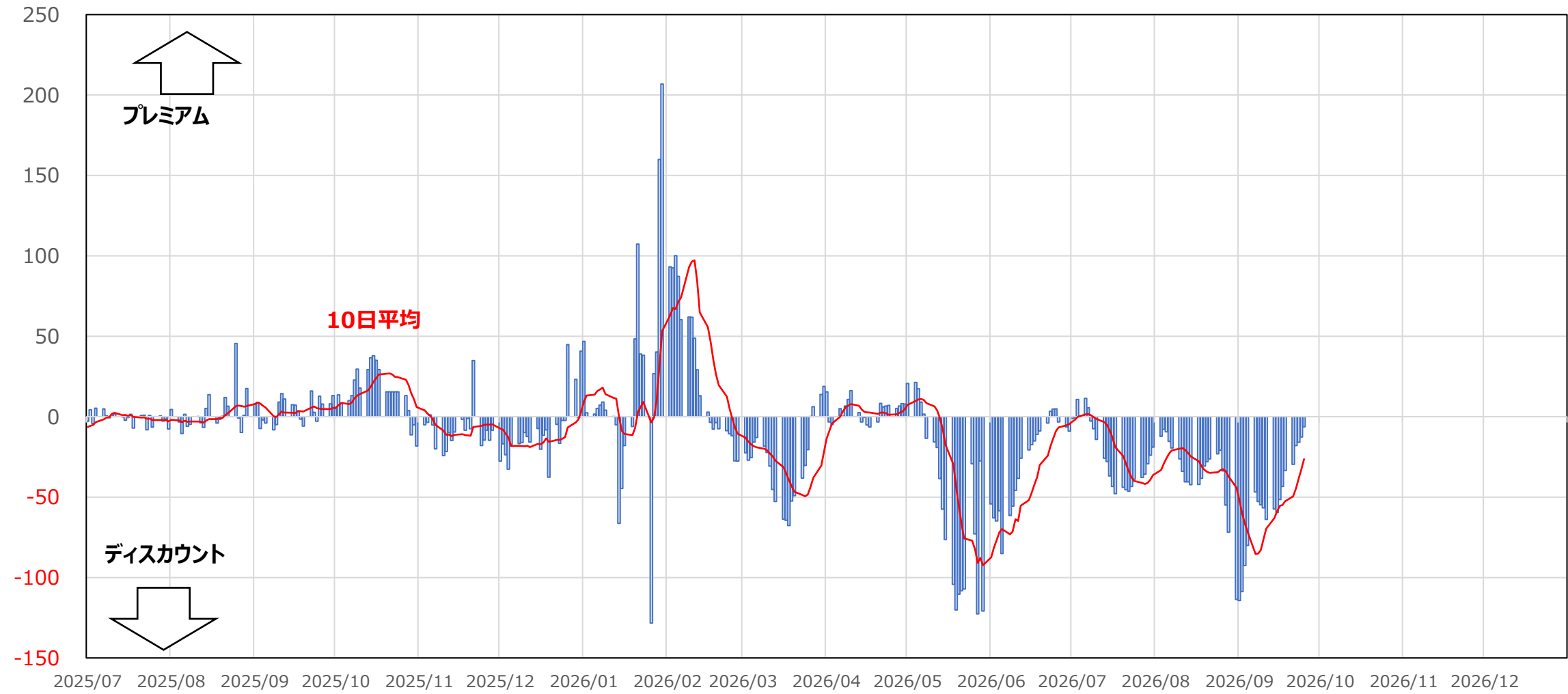


(出所) World Gold Councilよりマーケットエッジ作成

アジア現物市場の動向

(ドル/オンス)

インド金価格 国際相場に対するプレミアム/ディスカウント



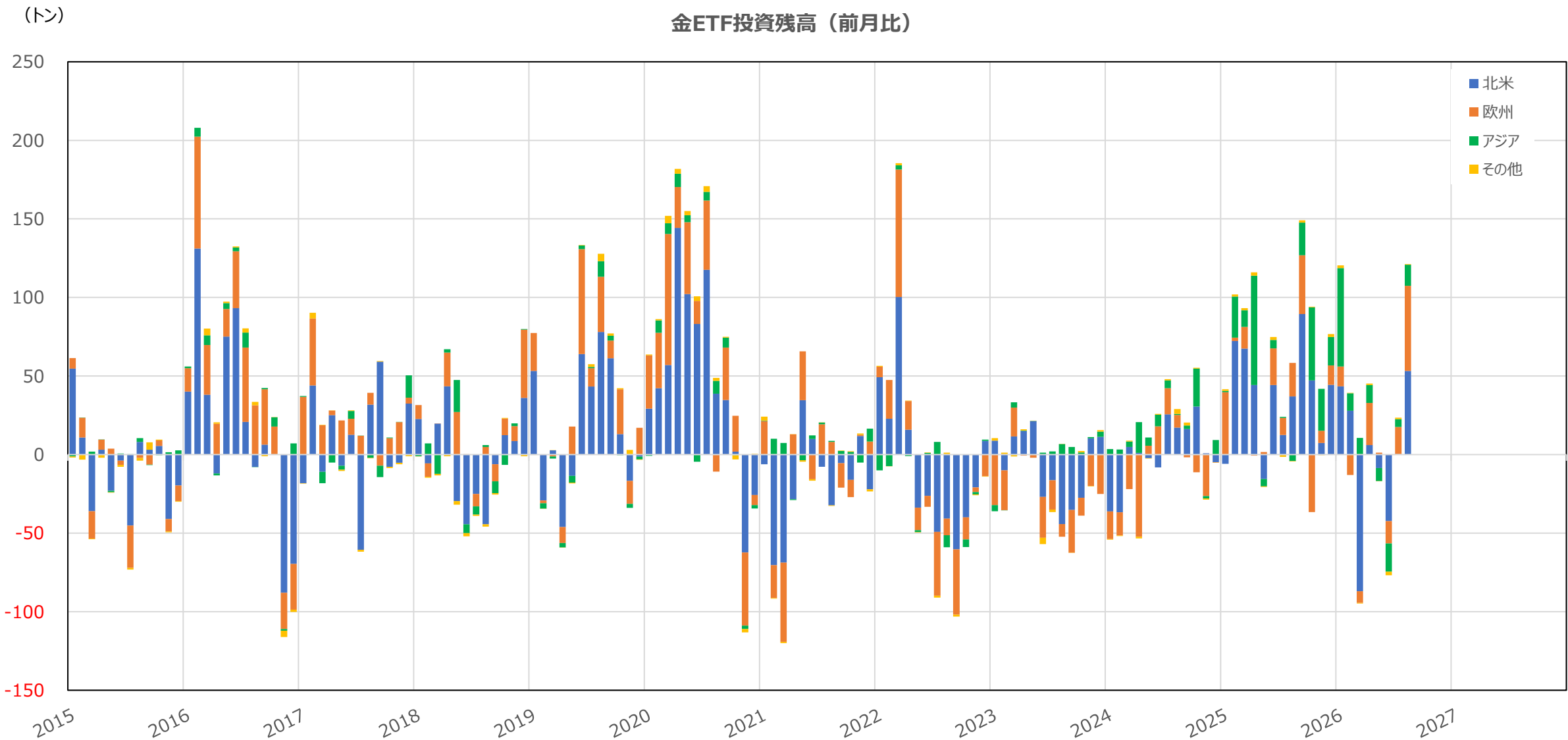
(出所) World Gold Councilよりマーケットエッジ作成

貴金属ETF市場の動向①



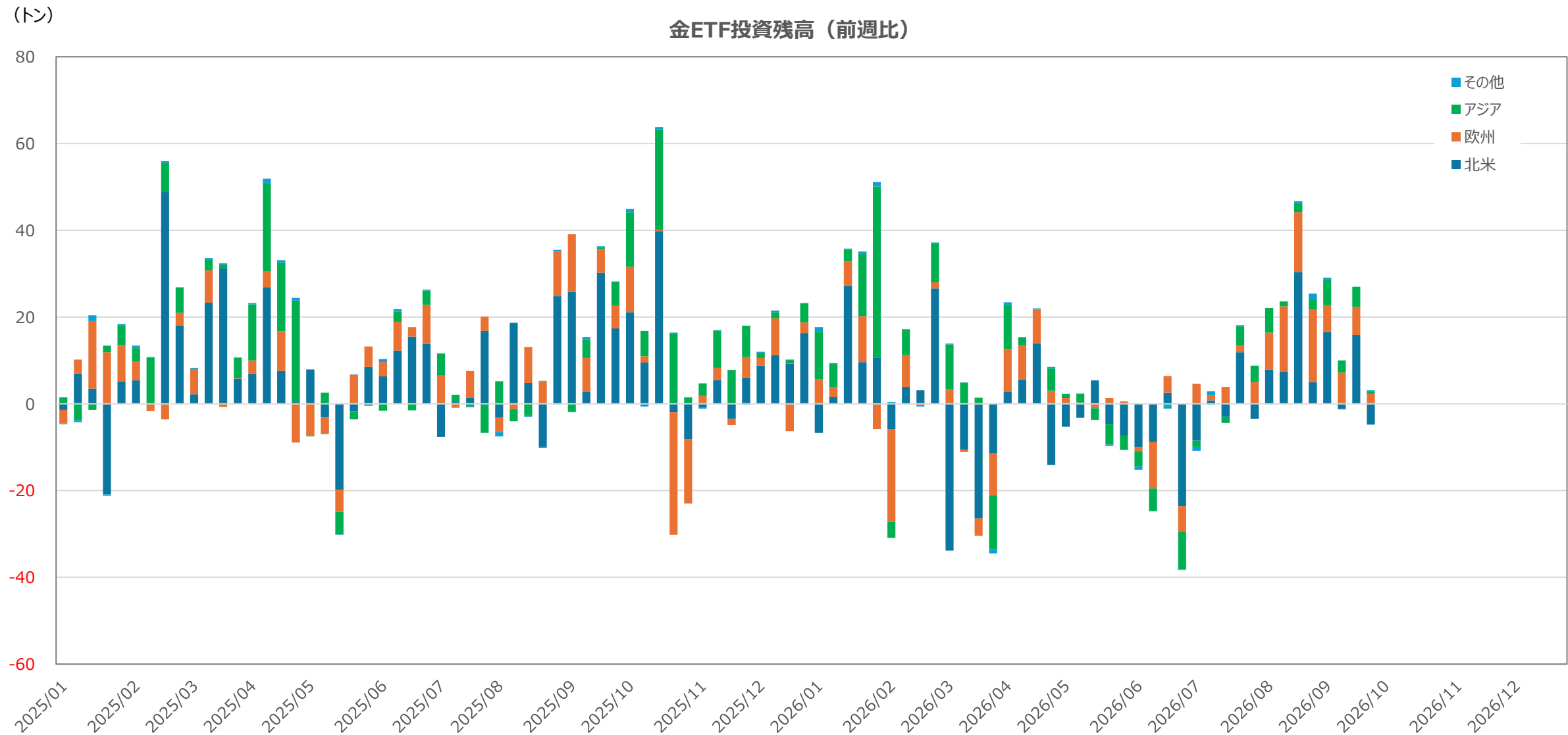
(出所) SPDR GOLD SHARESよりマーケットエッジ作成

貴金属ETF市場の動向②



（出所）World Gold Councilよりマーケットエッジ作成

貴金属ETF市場の動向③

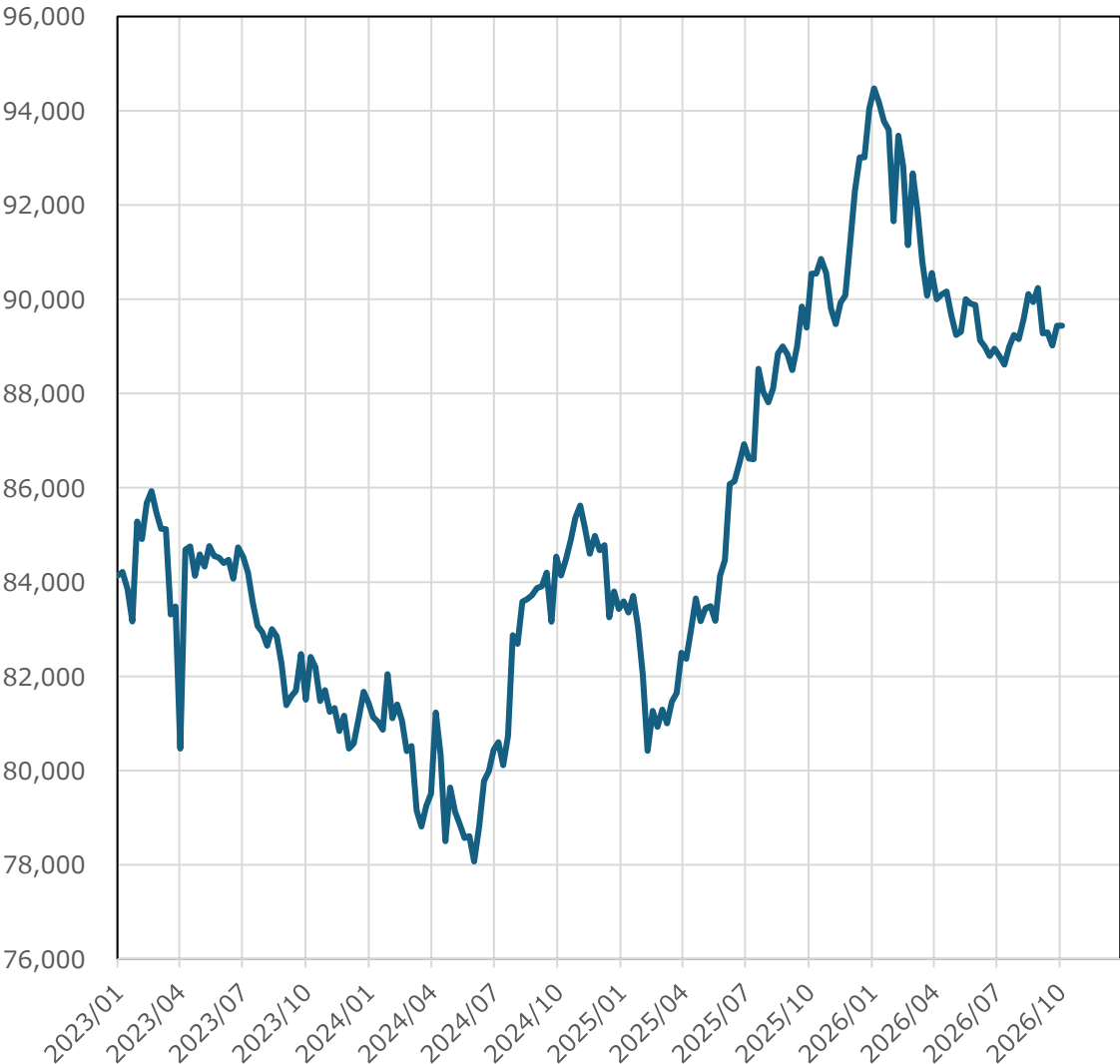


（出所） World Gold Councilよりマーケットエッジ作成

貴金属ETF市場の動向④

(万オンス)

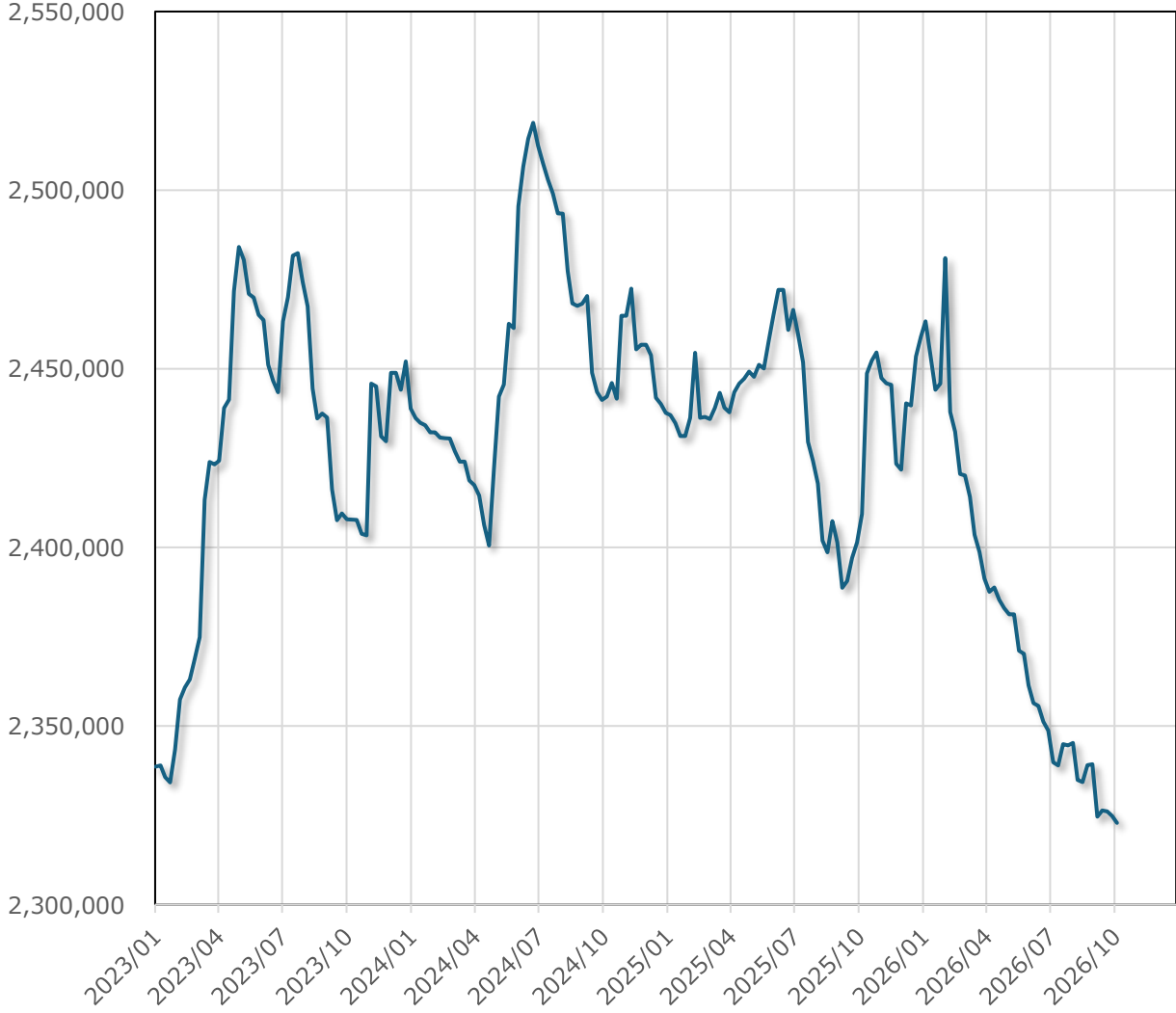
銀ETF投資残高



(出所) LSEGよりマーケットエッジ作成

(オンス)

プラチナETF投資残高



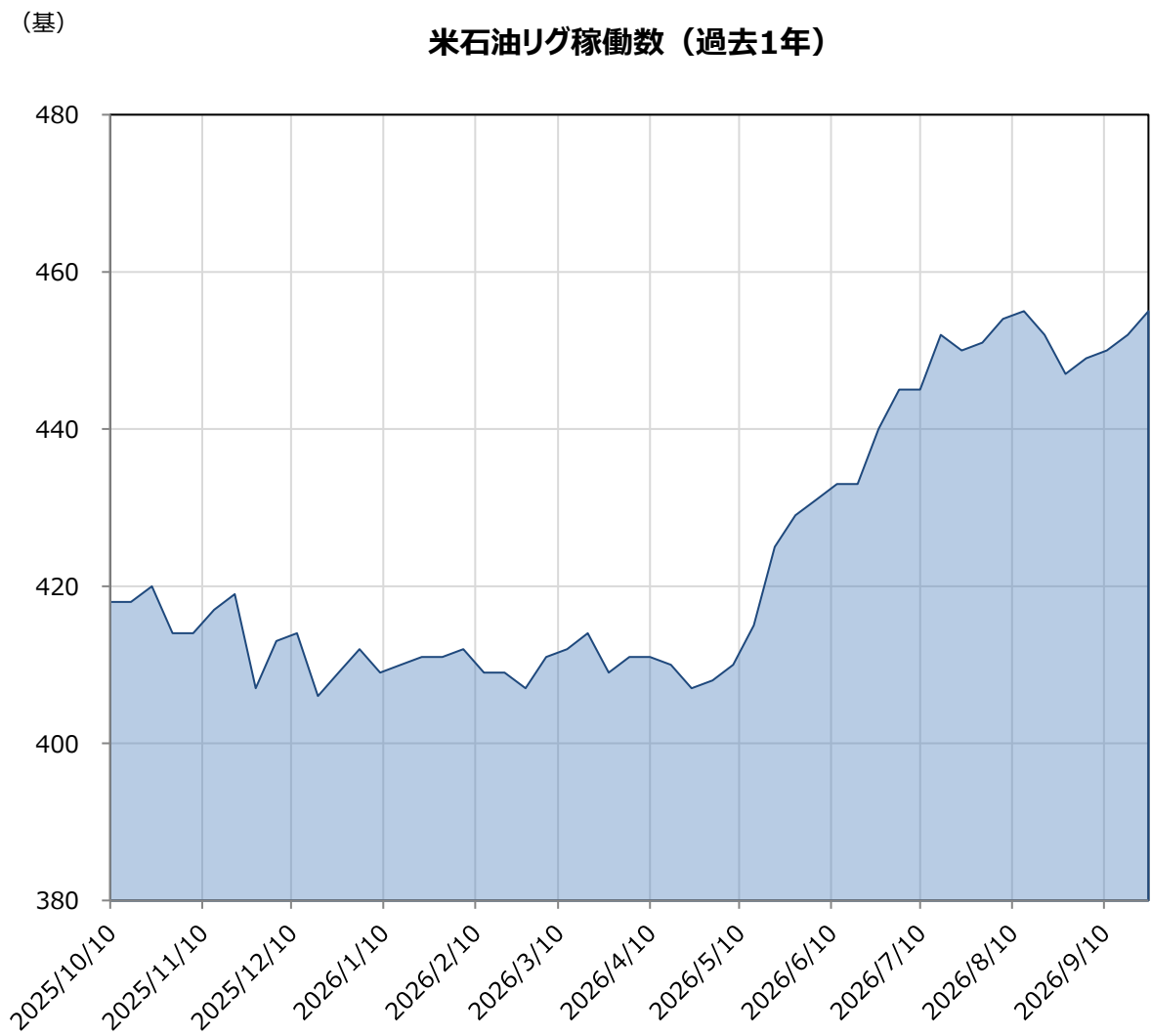
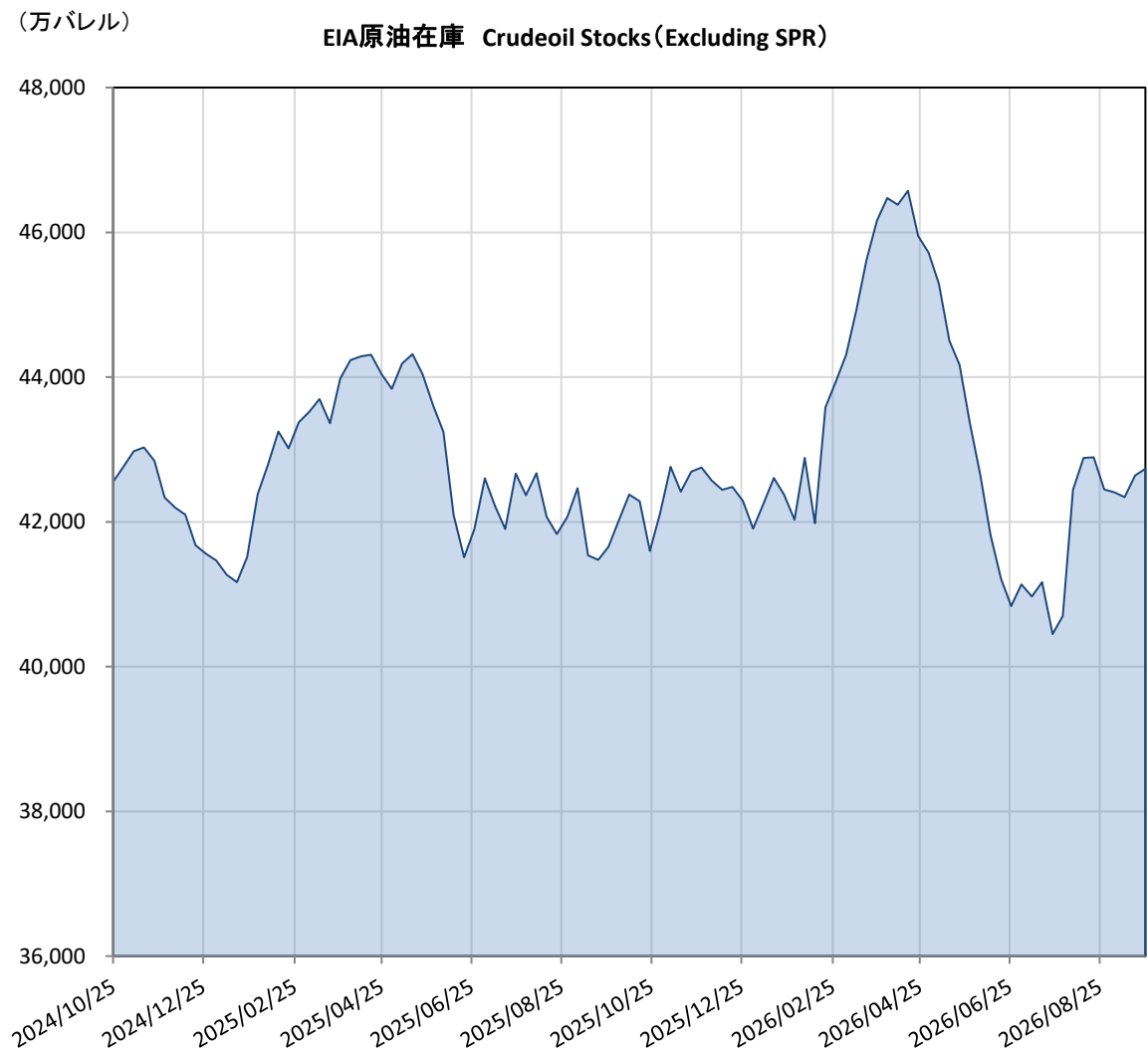
(出所) LSEGよりマーケットエッジ作成

Crudeoil

NYMEX原油先物相場（日足）

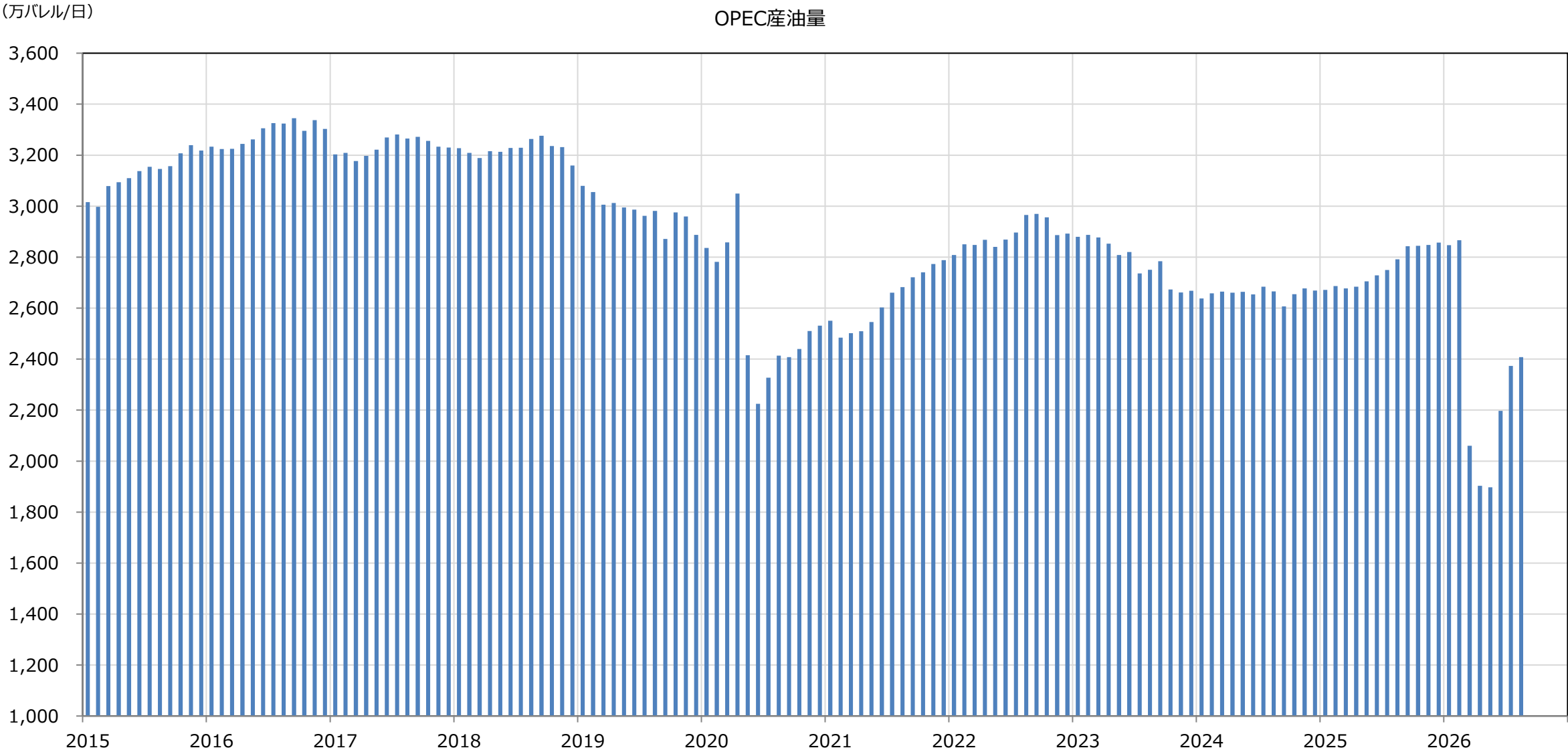


米石油在庫統計/米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

OPECプラス産油量



(出所) OPECよりマーケットエッジ作成

FX

ドル/円 (日足)



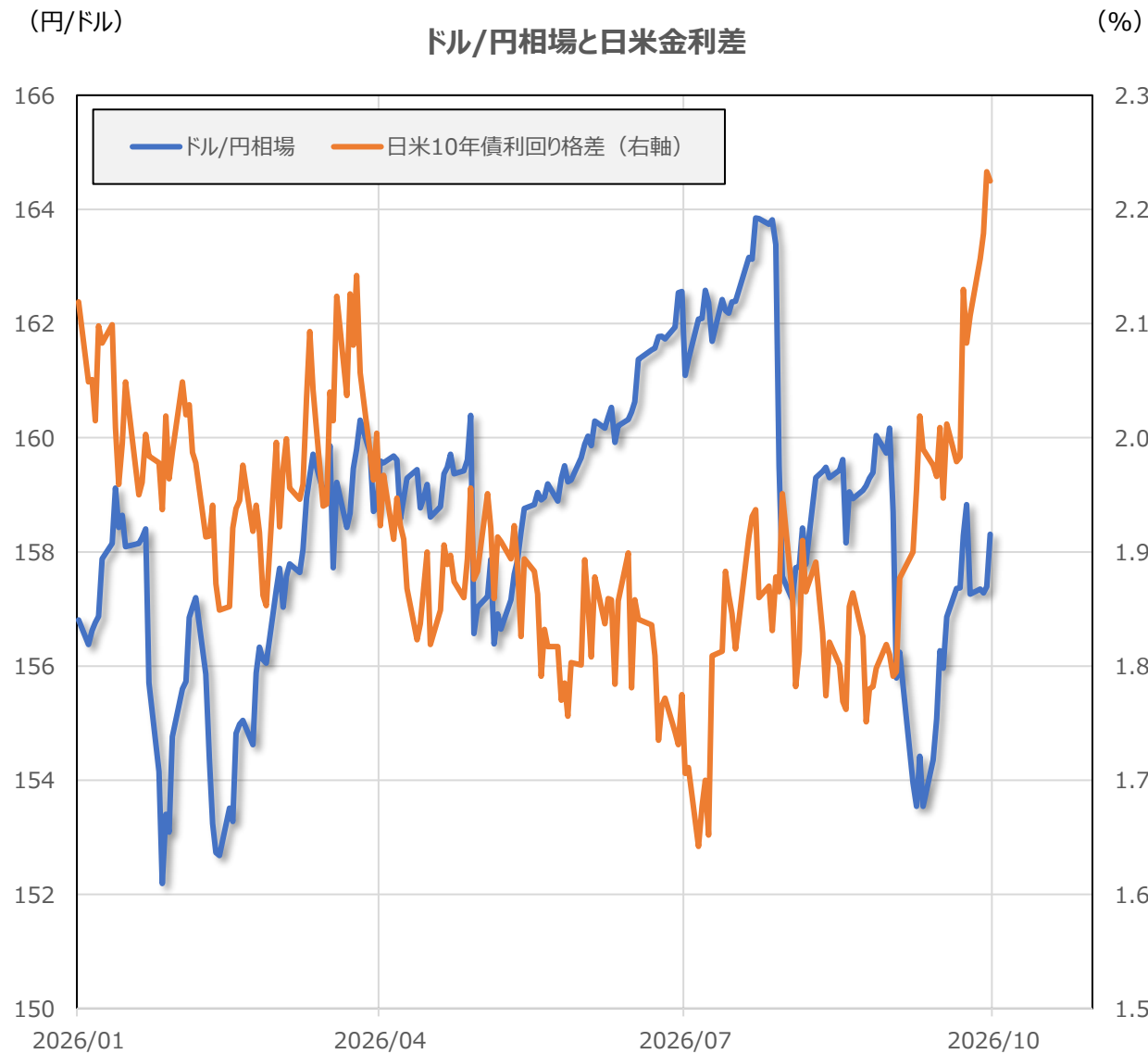
米長期金利



日本長期金利



金利環境からみたドル/円①

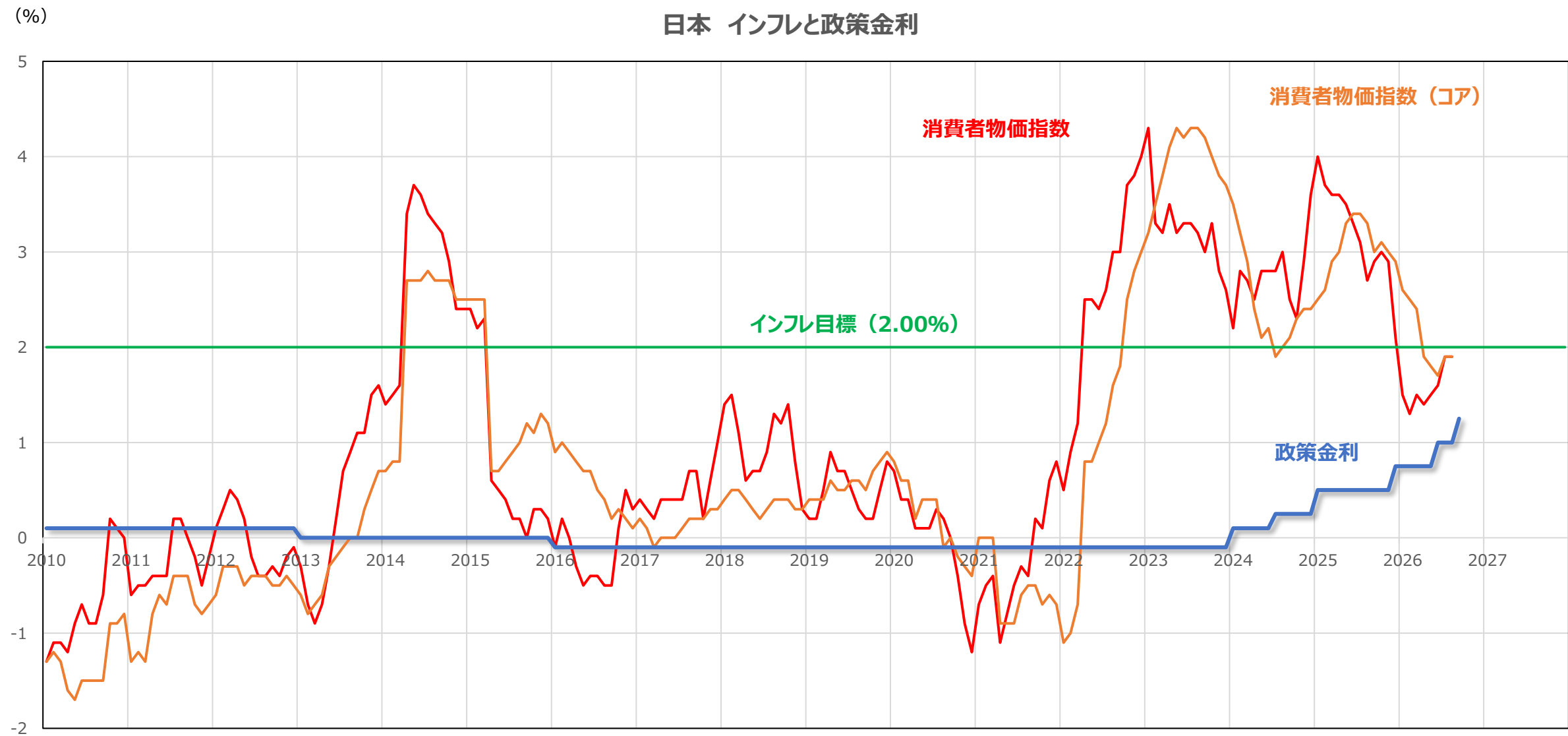


(出所) LSEGよりマーケットエッジ作成



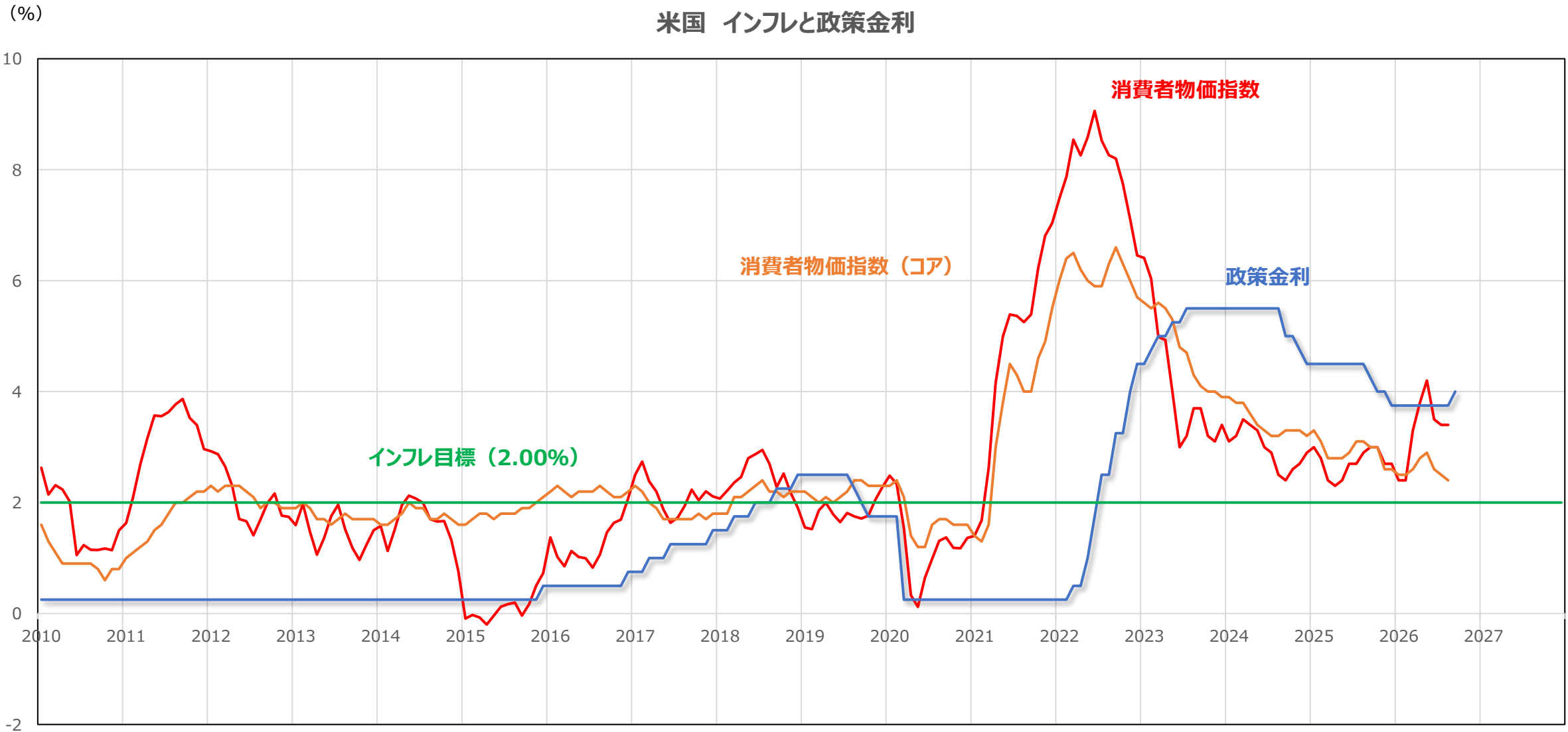
(出所) LSEGよりマーケットエッジ作成

金利環境からみたドル/円②



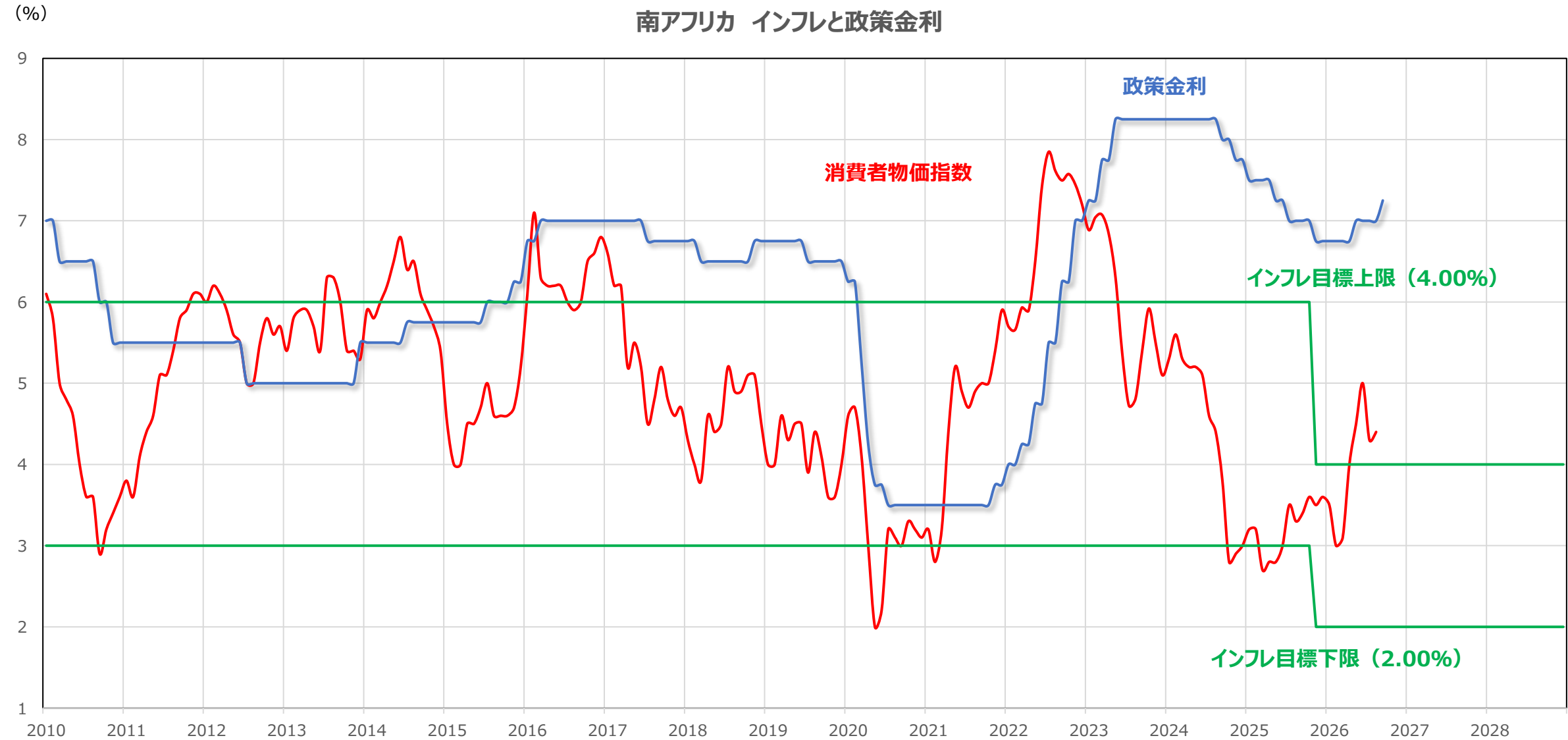
(出所) LSEGよりマーケットエッジ作成

金利環境からみたドル/円③



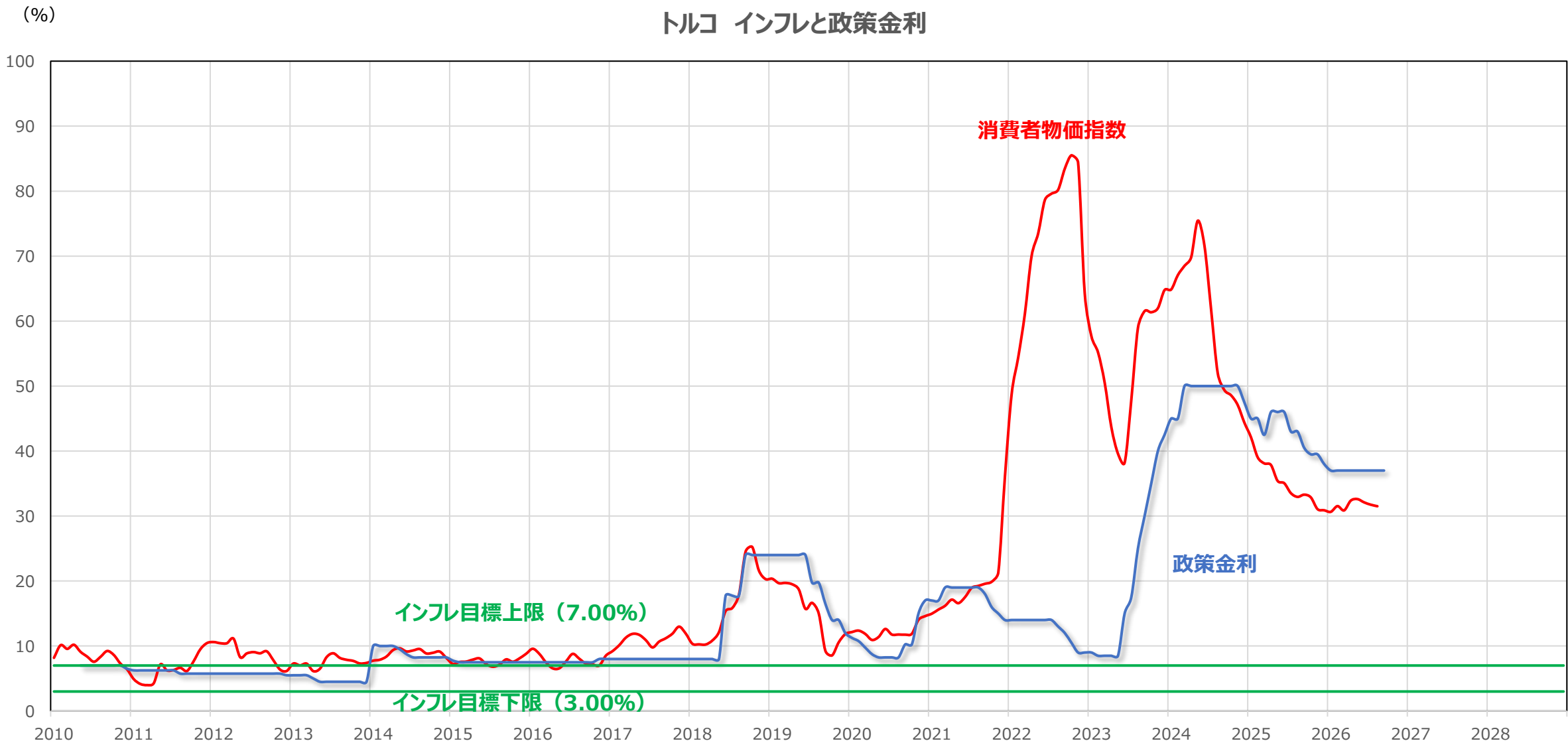
(出所) LSEGよりマーケットエッジ作成

南アフリカ政策金利



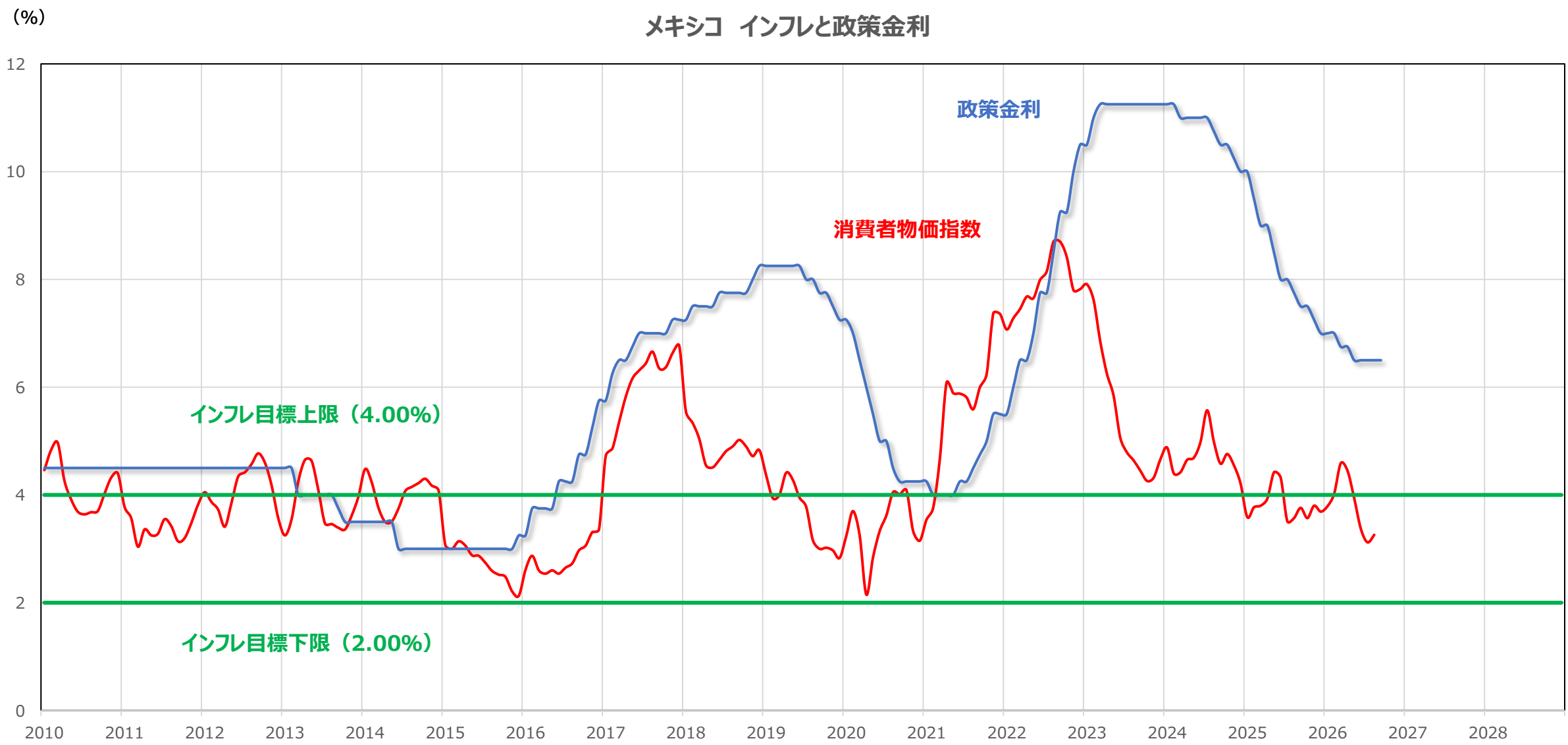
(出所) LSEGよりマーケットエッジ作成

トルコ政策金利



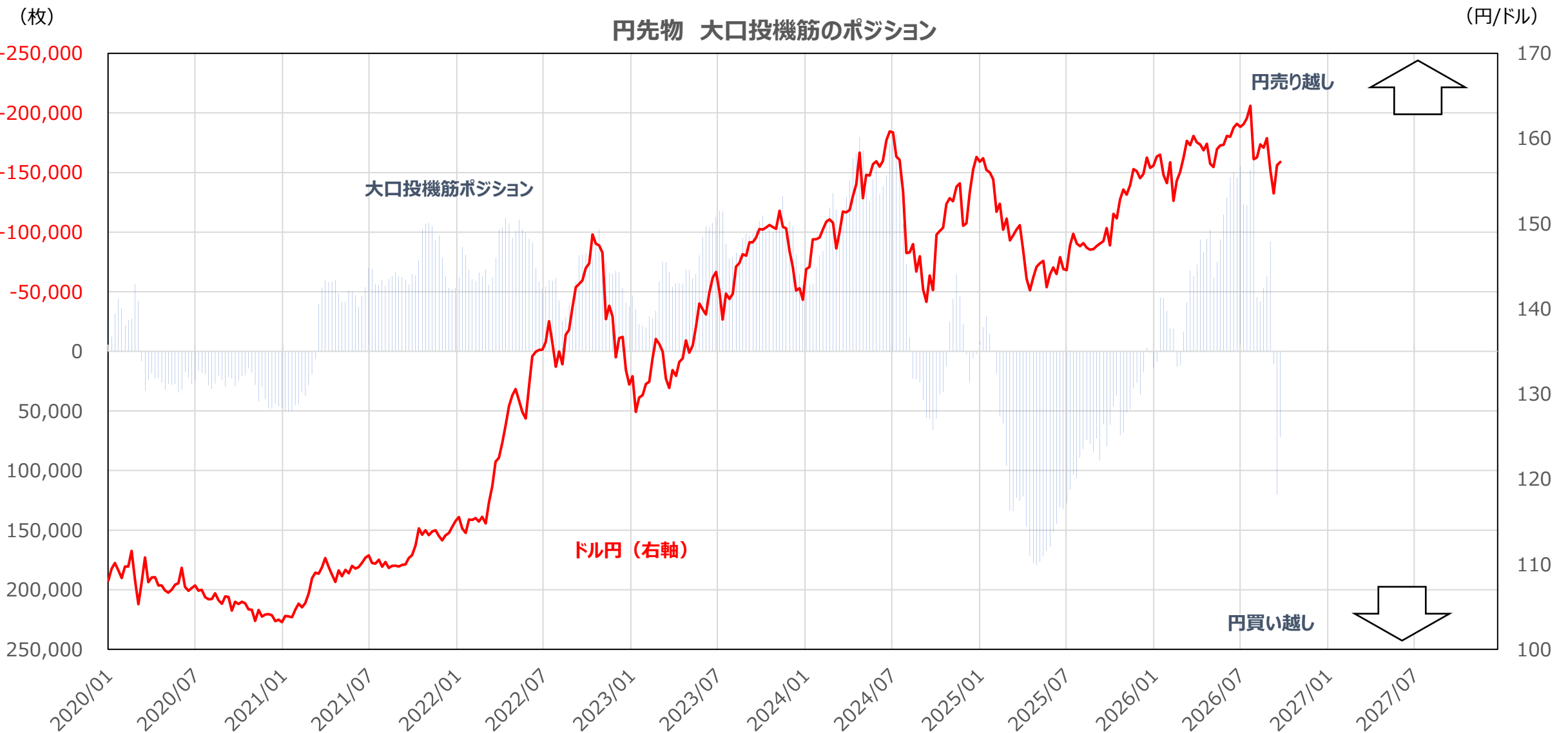
(出所) LSEGよりマーケットエッジ作成

メキシコ政策金利



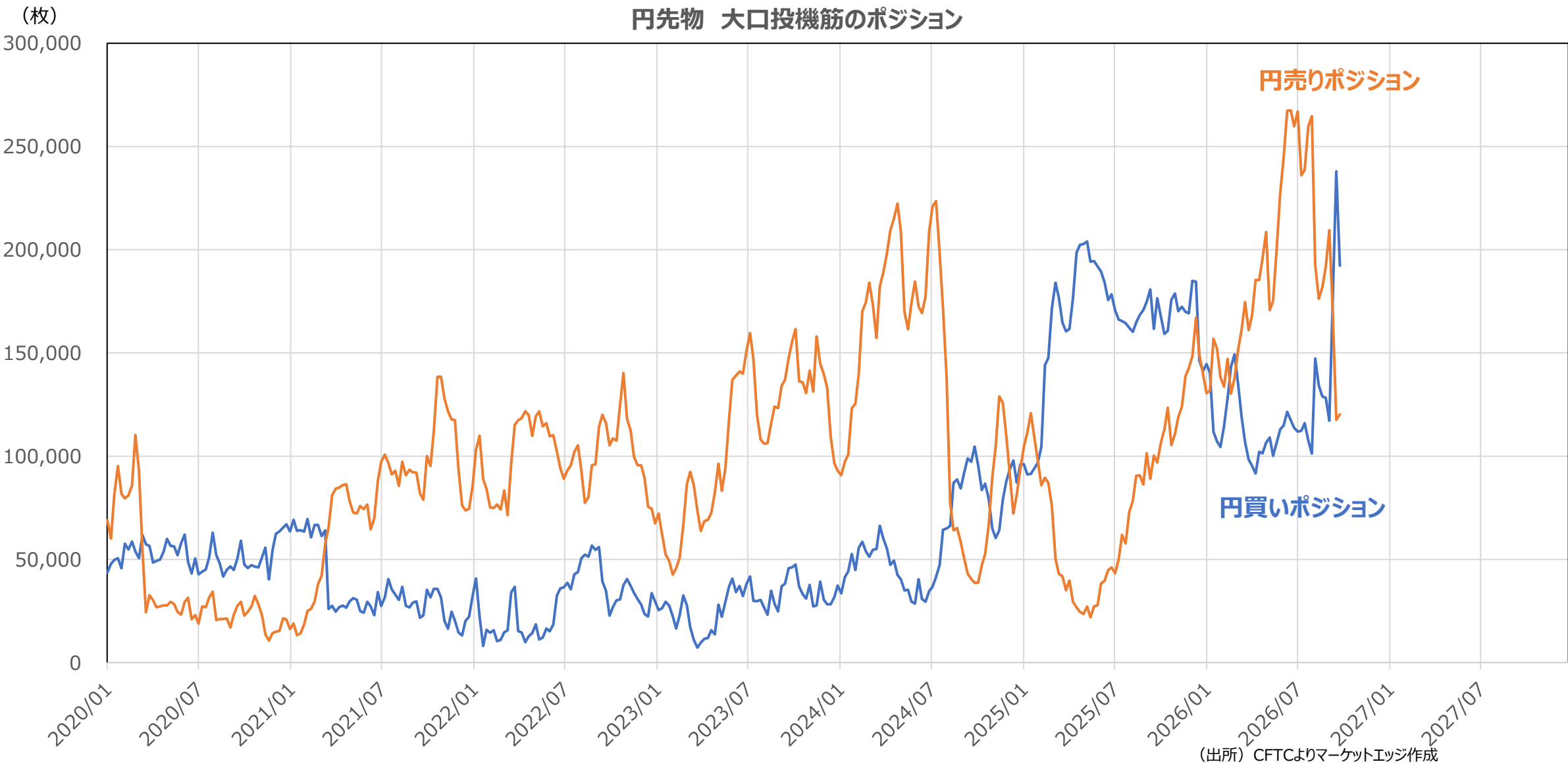
(出所) LSEGよりマーケットエッジ作成

ドル/円の内部要因①



(出所) CFTC、LSEGよりマーケットエッジ作成

ドル/円の内部要因②



Equity

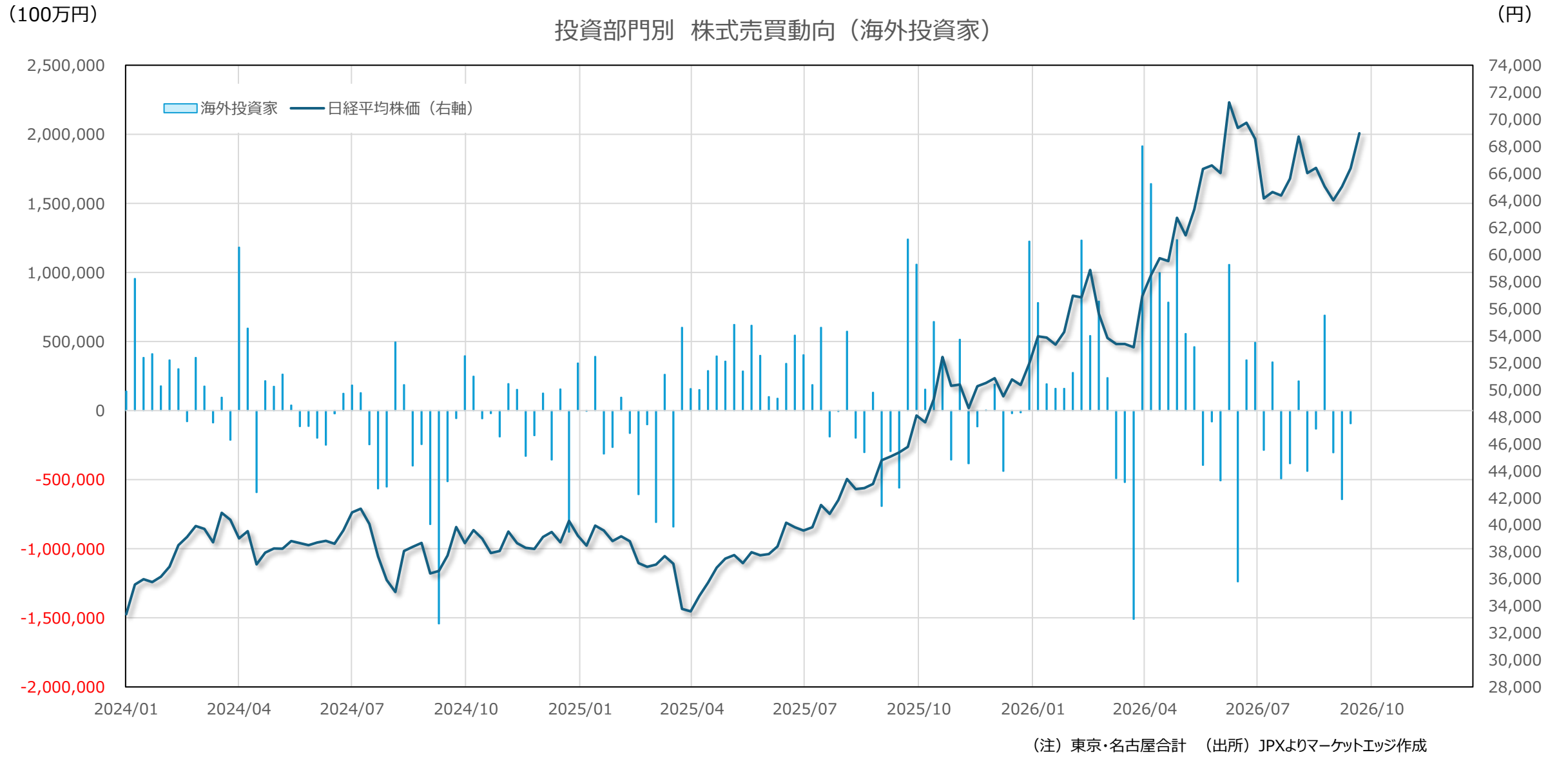
ダウ工業平均株価（日足）



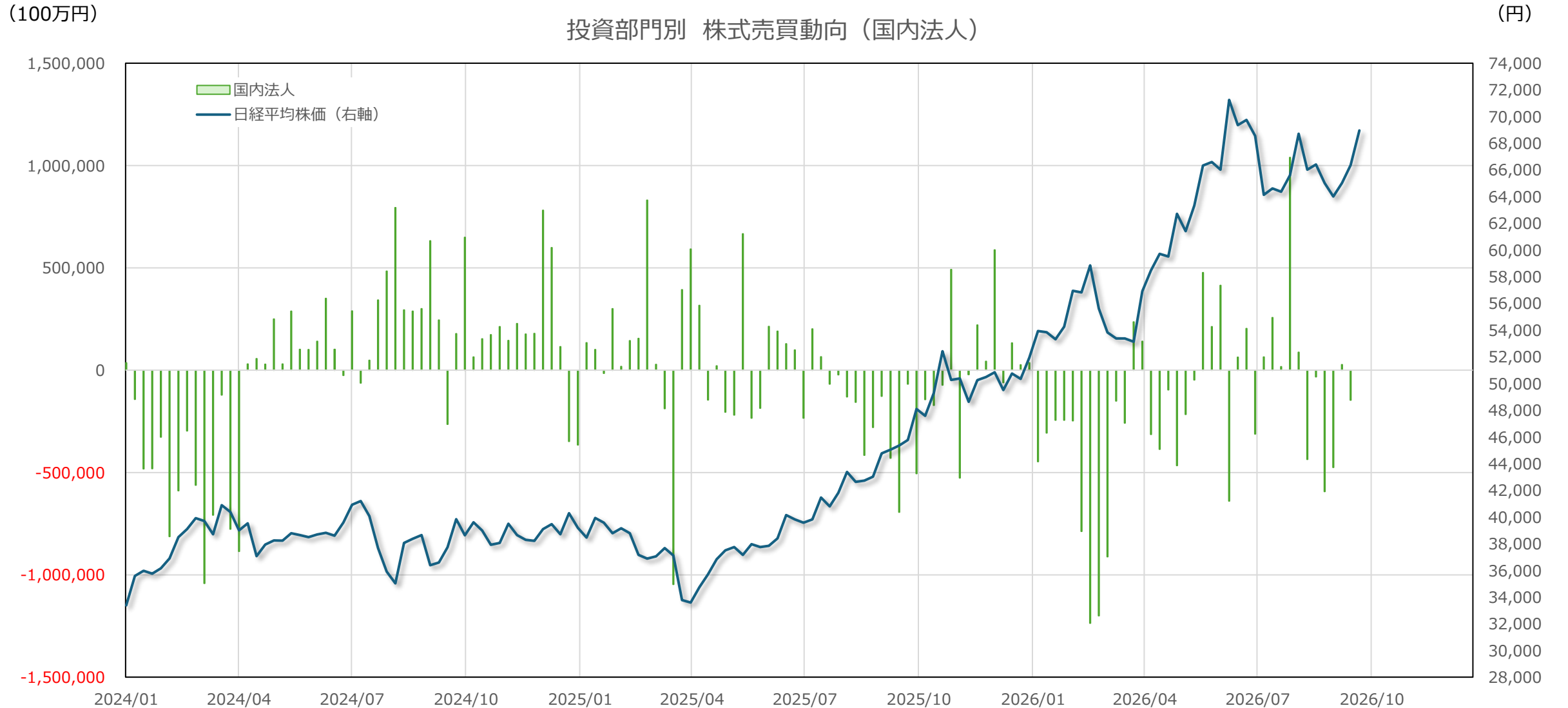
日経平均株価（日足）



日本株の投資主体別売買動向①

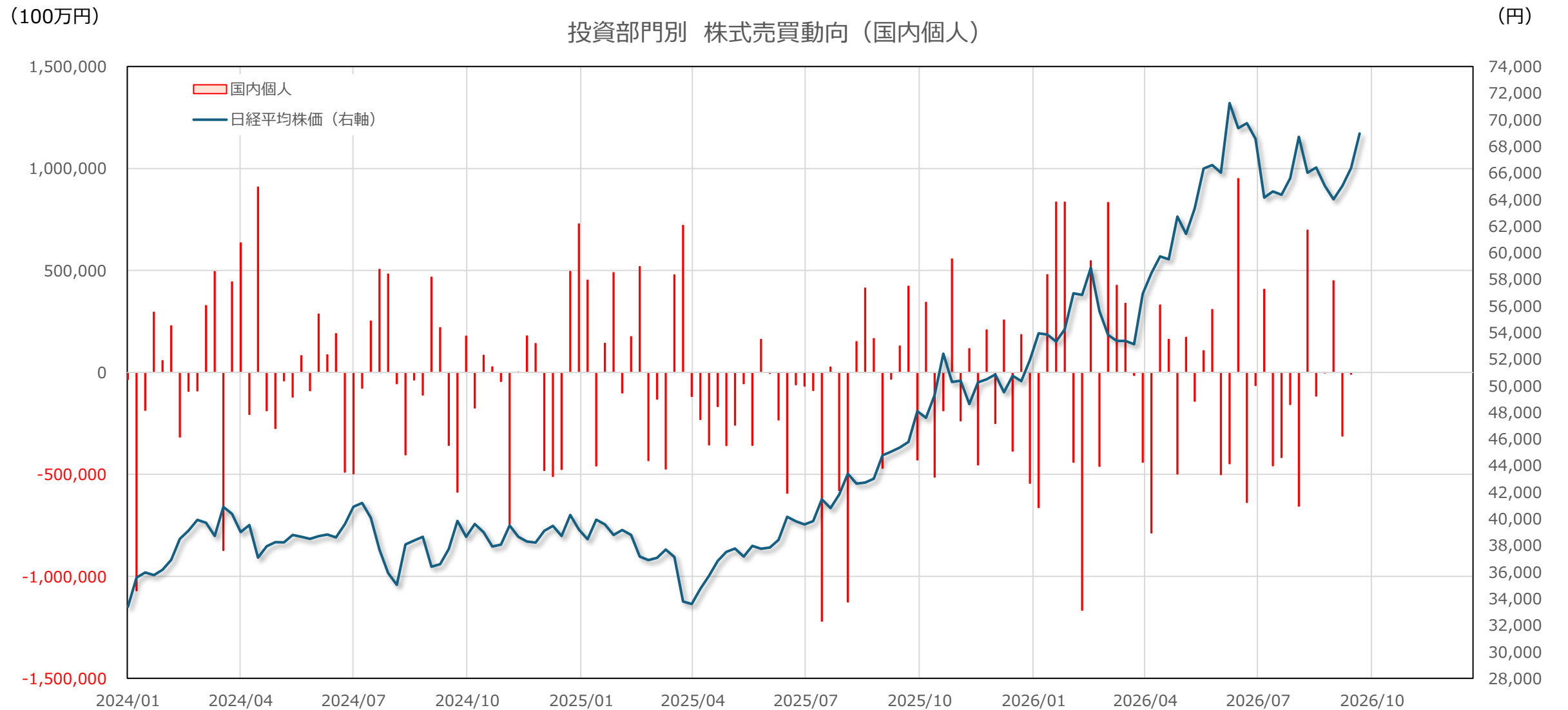


日本株の投資主体別売買動向②



(注) 東京・名古屋合計 (出所) JPXよりマーケットエッジ作成

日本株の投資主体別売買動向③



(注) 東京・名古屋合計 (出所) JPXよりマーケットエッジ作成

【作成/注意事項】

マーケットエッジ株式会社

代表取締役 小菅 努 (Tsutomu Kosuge)

Webサイト <https://www.marketedge.co.jp/>

Twitter @kosuge_tsutomu

本動画/資料で提供する情報については万全を期しておりますが、その情報の正確性を保証するものではありません。本動画/資料の内容は、将来予告なしに変更される可能性があります。また、本動画/資料の内容は過去の情報や実績をもとに作成したものであり、将来の成果を約束するものではありません。

本動画に係る一切の権利はマーケットエッジ株式会社及びその他の権利者に属しており、電子的または機械的な方法その他いかなる方法であるかを問わず、いかなる目的であれ無断で複製、または加工・編集等はできません。